

令和5年度さいわい縁むす日

報告書



令和6年3月 川崎市幸区

目次

I. 令和5年度「さいわい縁むす日」の目的・概要	1
1. 当事業の目的	1
2. 令和5年度スケジュール	2
II. 対象地区選定について	3
1. 希望地区について	3
2. 対象地区の選定	6
3. 対象地区選定の考え方	7
III. 地域課題と解決策について	8
1. 地域課題について	8
2. 解決策の検討	9
IV. 令和5年度「さいわい縁むす日」の実施について	11
1. 「さいわい縁むす日」強化月間について	11
2. 「さいわい縁むす日」当日について	13
3. 周知活動について	20
V. 令和5年度さいわい縁むす日の分析と評価	21
1. 令和5年度さいわい縁むす日の分析	21
2. 令和5年度さいわい縁むす日の評価	40
VI. 今後のさいわい縁むす日について	43
1. 実施地区拡大や好事例展開のためのロードマップ	43
2. 自走のための事業スキーム	47
3. 行政の関わりについて	49
資料編	51
1. 町内会連合会説明資料	51
2. 打ち合わせ記録	53
3. 制作物	68
4. 行政各部署への各種手続き	69

I. 令和5年度「さいわい縁むす日」の目的・概要

1. 当事業の目的

■地域コミュニティの希薄化を解決するためのきっかけづくりと、持続可能な「さいわい縁むす日」のあり方について

「人と人とのつながり」は防災・防犯をはじめ、子育てや高齢者の見守り、地域の清掃など区民の暮らしの基盤である。一方で、町内会・自治会の加入率は減少傾向にあり、特に若い世代における地域への関心や人間関係の希薄化が進行し、地域力の低下が課題になっている。また、長年区と共に市民活動の活性化に寄与してきた市民活動団体においても、担い手が固定化・減少しており、活動の活性化が課題となっている。

そこで幸区では、私たちが日ごろ生活している地域において人と人とのつながりをつくるため、地域への関心や関わりが薄い層に対して地域活動に参加しやすいきっかけを創出することを目的に「さいわい縁むす日」事業を令和4年度から本格実施している。

このようなことから、本格実施2年目として、令和5年度については、令和4年度の実施内容や抽出された課題を踏まえ、地域コミュニティの醸成と担い手を増やすことと合わせて、自走可能な体制づくりや、持続可能な「さいわい縁むす日」のあり方を明らかにするものとする。

2. 令和5年度スケジュール

○令和5年度の「さいわい縁むす日」のスケジュールは下記のとおり。

経過	時期	内容
各町内会連合会への説明と募集	5月	○日吉地区町内会連合会説明（31日）
	6月	○南河原地区町内会連合会説明（2日） ○幸区町内会連合会説明（13日） ○御幸地区町内会連合会説明（22日）
対象地区の選定	7月	○希望地区ヒアリング（5日）
	8月	○対象地区の選定決定
課題の抽出	9月	○第1回打ち合わせ（19日）
企画の内容検討	10月	○第2回打ち合わせ（13日）
	11月	○第3回打ち合わせ（1日） ○第4回打ち合わせ（29日）
実施にあたっての調整	12月	○第1回謎解きミーティング（16日） ○第2回謎解きミーティング（21日） ○第5回打ち合わせ（21日）
	1月	○第6回打ち合わせ（18日）
	2月	○さいわい縁むす日強化月間スタート（2月10日～3月10日まで） ○第7回打ち合わせ（9日） ○運営お手伝い希望者説明会（25日）
開催振り返り	3月	○第8回打ち合わせ（1日） ○さいわい縁むす日当日（10日） ○第9回打ち合わせ（15日）

II. 対象地区選定について

1. 希望地区について

○令和 5 年度「さいわい縁むす日」の希望地区としては、河原町団地 1 号館自治会と塚越ミレナリータワーズ自治会の 2 自治会からあった。

○令和 5 年度の対象地区は、1 地区に限ることから 2 自治会に対してヒアリングを実施した。ヒアリングの内容は、下記のとおりである。

自治会名	河原町団地 1 号館自治会
出席者	池田会長、他 2 名（副会長及び事務局長）
ヒアリング内容	■居住者の高齢化 ○当団地自体 1971 年に入居開始になっており、その時期に入居した人が多く、また同世代である。このため現在は、80 歳代の居住者が多くなっている。 ○高齢者の世帯の多くは、夫婦のみ世帯や単身世帯となっている。子どもがいてもすでに成人しており、別に世帯を持っている人が多く、子どもと同居している世帯が少ない。 ○また、外出することが困難な居住者も多く、自治会の役員などができない人も増えている。さらには最近では、孤独死もみられるということである。 ○数年前まで団地住民総ぐるみの美化活動があり、これが地域コミュニティづくりの良い機会であった。しかし、高齢化に伴い美化活動に参加できる人も少なくなり、美化活動自体が成り立たなくなった。このため、近年では業者に委託するようになり、地域コミュニティづくりの機会を失った。 ○自治会としても居住者に対し、さまざまな見守り活動などを行っているが、自治会役員自体も高齢者が多く負担が大きい状況である。 ■外国人居住者の増加 ○当団地では、近年は外国人ファミリー世帯の入居が増えている。国籍は、パキスタン、ネパール、ロシアなど多岐にわたる。 ○外国人居住者は、日本語がわからないという理由で、自治会の役員などには参加しない。他の居住者とのつながりもつくろうとしない。さらには、ゴミ出しなどの団地のルールについても伝えることが難しい状況である。

	○ただし、同じ国の居住者同士では、コミュニティが形成されている。自治会としては、この中で日本語がわかる人を見つけて、その人を介して同じ国の居住者に伝えてもらっている。
所見	○河原町団地1号館自治会については、高齢化を迎えている日本が抱える社会問題の縮図と言える。また、さいわい縁むす日の事業を考える際に参考にした、パリの「隣人祭」がはじまったきっかけと類似する。 ○また外国人居住者との関係性づくりにも苦慮しており、大きな課題であると考えられる。 ○抱える課題が、高齢者・外国人、孤独死など福祉的要素が強く、本事業の趣旨と親和性に疑問符がつく。

自治会名	塚越ミレナリータワーズ自治会
出席者	ミレ自治会会長
ヒアリング内容	■申請の理由と期待すること ○昨年度と概ね同じことを行いたいと考えている。開催時期も昨年度と同じ3月中旬を考えている。他の時期では他のイベントや活動と重なるので開催できない。 ○ノウハウは昨年度に蓄積されたので、昨年度のようなペースでの打ち合わせや、打ち合わせに区役所やコンサルタントの出席は必要ない。 ○支援をいただきたいのは、昨年度借りたような椅子やテーブル、テントなどである。自治会が所有している備品だけでは足りない。 ○川崎産野菜の販売も行いたいと思っているが、今回は区役所に買い付けをお願いするのではなく、昨年得た情報を活かして自治会で行いたいと思っている。 ○行政関連手続きも実際に自治会でできるようになりたい。 ○令和4年度の来訪者アンケートでは、運営を手伝いたいという人が7割弱あったことから、そのような人に運営に参加してもらいたい。 ○周辺の町内会（塚越2丁目等）と一緒に当事業を実施し、マンション居住者と周辺町内会と交流を図りたい。

所見	○塚越ミレナリータワーズ自治会については、昨年度と概ね同様の内容を考 えていること合わせて、昨年度のノウハウがしっかり蓄積されているよう である。今後の自走で発展することを考えると、自治会の考えに基づいて、 自分たちの力で実施することが必要であると考えられる。それがさらなる 自信につながると考えられる。 ○昨年度プラスαで内容を更に発展させ、現在も増えつつある比較的若い世 代が居住するマンション自治会のロールモデルとしての展開が期待でき る。
-----------	---

2. 対象地区の選定

(1) 令和5年度のポイント

○今後「さいわい縁むす日」が幸区に広がっていくためには令和5年度については、「さいわい縁むす日」の考え方や手法などが区内に広がる足掛かりをつくることが重要であると考えます。このようなことから対象地区については、区内に広がる足掛かりをつくるための効果が現れやすい地区を選ぶことが必要であると考えます。

(2) 対象地区の可能性の整理

○令和5年度のポイントを踏まえて参加希望を出している2地区を比較すると、次のように整理されることが考えられます。

	塚越ミレナリータワーズ	河原町団地1号館
メリット	○昨年度実施した経験やノウハウが蓄積されているので、活かすことが可能である。 ○実施体制が整っている。 ○昨年度の実績で、他の地区のマンション自治会からも注目されており、広がる可能性がある。 ○昨年度に実施したアンケートで、機会があればこのようなと取組に関わりたいと回答した人が約7割あるので、取り入れることができるのであれば、本事業の目的趣旨と合致する。	○団地内のオープンスペースが広く、屋根のあるオープンスペースもあるため、大規模なイベントや天候に左右されずに行うことが可能。
デメリット	○会長ヒアリングでは今年度については、昨年度と同じような形で実施することを望んでいる。このため、「さいわい縁むす日」を区内に広げる意識を持ってもらう必要がある。 ○隣接した地域が「さいわい縁むす日」に取組みたいかどうか不明。	○「市営住宅」の自治会であるため、福祉政策の意味合いからも課題として非常に重い。「きっかけをつくる」という本事業の目的から距離がある。 ○居住者の高齢化などにより担い手がない状況であるため、「さいわい縁むす日」を実施するための体制をつくることが難しい。

3. 対象地区選定の考え方

○対象地区選定については、前ページで示した令和5年度のポイントと対象地区の可能性の整理を踏まえると、次のようなことが考えられます。

	地区の選定について	今後の対応について
塚越ミレナリータワーズ	○体制が整っていることや昨年度の実績で他の地区からも注目されており、区内への波及効果が期待できることから、 今年度の対象地区 として塚越ミレナリータワーズとすることが考えられる。	○ただし、塚越ミレナリータワーズに対して次のようなことを働きかける必要がある。 ①令和4年度にあたってははじめての試みだったため、自治会としてはあまり積極的に周知活動をしたくないという意向であった。しかし、今年度では「さいわい縁むす日」を区内に広げるために、周知活動を積極的に行うことを意識してもらう必要がある。 ②塚越ミレナリータワーズだけで実施するのではなく、周辺と地域とも連携して行う必要がある。 ③令和4年度来訪者アンケートで、「運営を手伝いたい」と答えた人を取り込む工夫が必要である。
河原町団地1号館	○「さいわい縁むす日」だけでは、地域課題が解決に至らないことが考えられることから、 今年度は見送る ことが考えられる。	○ただし、当自治会が抱える地域課題を踏まえると、次のような対応が必要になると考えられる。 ①高齢の夫婦のみ世帯や単身世帯が多いことから、区役所地域ケア推進課などの福祉系の部署や区内の地域包括支援センターなどに今回得た情報を伝え、対応できるようにする。 ②当団地では、外国人居住者に団地内のルールなどを伝えることが難しいという課題があることから、このような課題に関係する部署や団体を紹介する。

⇒以上から令和5年度対象地区は、塚越ミレナリータワーズ自治会で決定

Ⅲ．地域課題と解決策について

1．地域課題について

○令和 5 年度において、ミレナリータワーズ自治会として地域課題は、令和 4 年度に実施したさいわい縁むす日を踏まえて、次のようなものが挙げられた。

（1）担い手を確保するための方法を考える

○令和 4 年度「さいわい縁むす日」来訪者アンケートでは、このようなイベントを手伝いたい、運営に参加したいという人が比較的に多かったことがわかった。一方で、手伝いたいという人も機会があったら、声がかかったらという意見が多くあった。このため、そのような人が参加しやすいような環境を整えることや、仕組みをつくる必要がある。

（2）他の団体等との連携

○令和 4 年度においては、企画の実施（模擬店の出店等）から警備や案内まで、ほとんどのことをミレナリー自治会で行ったが、自治会メンバーの負担が大きかった。また、企画の広がりも限界があることや、ミレナリータワーズ以外にもさいわい縁むす日の効果を波及させる必要があることから、ミレナリータワーズ自治会だけでなく、他の団体などとの連携が求められる。

（3）負担軽減と持続可能な運営方法の検討

○塚越ミレナリータワーズにおけるさいわい縁むす日については、第 1 号ということや当初からイベント開催ありきであったと思われる。このようなこともあり、イベントの規模が大きく、主催した自治会からすると負担が大きかったことも考えられる。

2. 解決策の検討

(1) お手伝い募集チラシと顔合わせ会の開催

○お手伝いを募集するために、次ページのようなお知らせチラシを作成し、ミレナリータワーズ全戸に配布した。

さいわい緑むす日 お手伝いスタッフ お手伝い内容説明資料	
2024/02/25 自治会 文化部	
本日はご参集いただきありがとうございます。下記の日程で「さいわい緑むす日」の開催を予定しています。	
日時：令和6年3月10日(日) 10:00-15:00 場所：郷鮎こかげ公園およびミレナリータワーズエントランス付近	
当日、お手伝いしていただきたい内容について記載します。	
1. 模擬店のお手伝い	実施内容：野菜の販売準備及び販売 10時に直売所で購入された野菜の情報が届くのでその連絡を受けて、ポップ（ほうれん草 x x円）を作ります。野菜が届いたら、販売をお願いします。 対応時間：10:00-15:00（直売所から野菜が届くのが11時前くらいになる見込み） 想定人数：4人/時間
2. 周辺道路や会場の警備、誘導	実施内容：自転車で来た方の誘導、道路への飛び出しの予防、横断歩道の安全確保 当日、担当の時間になったら本部まで来ていただき、指定の場所での警備を実施していただきます。道路への飛び出し防止や自転車の整理などをお願いします。 対応時間：10:00-15:00 想定人数：6~8人/時間
3. テント等の説明・撤去のお願い	実施内容：開始前のテントの設置および終了時の撤去のお手伝い 開始前/終了時に公園に集まっていただき、テントの設置、片付けをお願いします。 対応時間：7:00-9:00 / 15:00-17:00 想定人数：多数
4. 催事終了後の清掃	実施内容：お祭り終了後のゴミ拾い、近隣道路のゴミ拾い お祭り終了時に公園内、および道路周辺を回り、ゴミ拾いをお願いします。 対応時間：15:00-17:00 想定人数：多数
連絡先： e-mail: sukamire.bunka@gmail.com Instagram: QRコード参照 LINE: 声掛けください。	

○2月25日（日）に顔合わせ会と称して事前説明会を開催した。チラシを見た1人の居住者から、事前に申し込みがあったが、当日に体調不良のため出席できなかった。このため、結果として参加者は0人だった。

○令和4年度の反省を活かし、お願いしたい内容、手伝ってほしい内容を予め明示することで、安心して参加できるように改善した。また、従事する時間も細分化し、他短時間でも参加できるように、ハードルを下げる工夫をした。

(2) 連携団体等とその役割

○今回のさいわい縁むす日では、下記の団体と連携して実施した。

①塚越2丁目町内会

○ミレナリータワーズと道路を挟んで隣接した地区である。連携した内容としては、企画段階から町内会役員が出席したことや、チラシの回覧・掲示やさいわい縁むす日当日の警備や案内を行った。また、消防団に声かけを行い、警備協力を仰いだ。

②塚越銀座商店街

○塚越2丁目内にある商店街である。閉業している店舗が増えており、距離的には近いものの、マンション居住者で商店街を利用する人も減ってきている。
○連携の内容としては、当日の出店と強化月間の際の協力、チラシの配架などを行った。

③幸市民館謎解きサークル

○幸市民館で募集した謎解きサークルである。参加者は地元の中高生である。このサークルは、幸区をはじめ、川崎市内各所で謎解きを作成している。
○連携の内容については、強化月間で実施した謎解きのなぞなぞを作成した。

④NPO 法人 国際自然大学校(NOTS)

○令和6年度に実施される全国都市緑化かわさきフェア開催の一環として、建設緑政局からの紹介で連携することになった。
○連携の内容は、自然体験プログラムとして、薪割り体験と焼きマシュマロを行った。

⑤塚越中学校美術部

○ミレナリータワーズ自治会会長と地元中学校のつながりの中で連携に至った。
○連携の内容は、似顔絵描きコーナーを開催した。

⑥市民活動団体「まことさがし」

○昨年度に引き続き、ボードゲームコーナーを運営した。

⑦消防団

○警備及び交通整理を担った。

IV. 令和5年度「さいわい縁むす日」の実施について

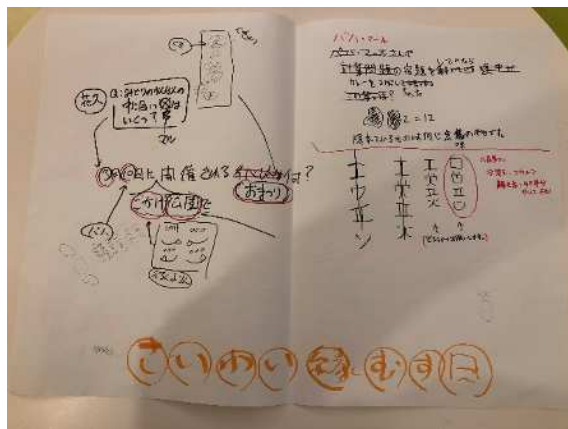
1. 「さいわい縁むす日」強化月間について

(1) 内容

○令和5年度の「さいわい縁むす日」強化月間では、「さいわい縁むす日」のPRと合わせて、今回出店する塚越銀座商店街を巡ってもらうために、チラシの裏面に謎解きを作成し配布した。

○謎解きの作成にあたっては、幸市民館の謎解きサークルに参加する中高生に協力してもらった。

■幸市民館の謎解きサークルによる検討の様子



■チラシと裏面の謎解き



■お店の掲示



(2) 成果

- 謎解きは小学生低学年向けに作成した。なぞなぞを解いたチラシを、さいわい縁むす日に持っていくと記念品をもらえるようにしたが、138枚の回収があった。持って帰った人もいたの、それ以上の人が参加した。
- さいわい縁むす日強化月間中は、小学生の下校時間ごろに商店街の店舗を巡って謎解きに参加する子どもが多く見受けられた。

2. 「さいわい縁むす日」当日について

(1) 当日の概要

①開催日時及び会場

日時：令和 6 年 3 月 10 日（日）10 時～15 時

会場：塚越こかげ公園及びミレナリータワーズエントランス

②概要

○令和 5 年度の特徴は、周辺地域の団体や市紹介の NPO 法人国際自然大学校、塚越中学校美術部、市民活動団体「まことさがし」等と令和 4 年度と比較して多くの団体と連携したことである。

○出店にあたっては、塚越銀座商店街の店舗に出店してもらった。また、会場周辺の警備や案内には、塚越 2 丁目町内会や消防団が協力した。NPO 法人国際自然大学校には自然体験プログラム、塚越中学校美術部には似顔絵コーナー、市民活動団体「まことさがし」にはボードゲームの実施に協力してもらった。

③来訪者数

- ・当日の来訪者数は、750 人であった。

(2) 企画の内容

①出店系

出店名	内容	様子
バハ・マール (塚越銀座商店街店舗)	カレー	
八百美 (塚越銀座商店街店舗)	コーヒー 手作り雑貨	
ひたき本店 (塚越銀座商店街店舗)	もつ煮 唐揚げ	
インド ネパール レストラン アイソリア (塚越銀座商店街店舗)	カレー チキンティッカ 瓶ビール お茶	

出店名	内容	様子
くもい (塚越銀座商店街店舗)	調理パン	
ぷるんぷりん (塚越銀座商店街店舗)	チョコバナナ	
はいさい (塚越銀座商店街店舗)	スパム もずく天ぷら オリオンビール サーターアンダギー	
Clock (塚越銀座商店街店舗)	生ビール ハイボール	

出店名	内容	様子
ミレナリータワーズ自治会	駄菓子	
ミレナリータワーズ自治会	川崎産新鮮野菜 ・宮前区野川産の採れたて野菜販売	

②アクティブ系

団体名	内容	様子
NPO 法人国際自然 大学校 (NOTS)	自然体験プログラム ・薪割り体験 ・焼きマシュマロ体験	 
塚越中学校美術部	似顔絵コーナー	
市民活動団体「まこ とさがし」	ボードゲーム ・ギリギリアイスゲーム ・クアルト ・ダブル ・マンカラ	

(3) 当日の様子

①開会式

○ミレナリー自治会会長による開会のあいさつが行われた。今回は主賓あいさつとして、幸区長から労いの言葉があった。



②出店の様子

○バハ・マールをはじめとした飲食店ブースは、早々に準備していた食べ物完売となるころが多く、似顔絵は整理券制で時間いっぱいやっていった。新鮮野菜直売は、仕入れの関係で少し遅れての販売開始であったが、1時間程度で完売した。また、アクティブ系のテントでは、子どもたちに大盛況で常時、子どもたちでにぎわっていた。





③自然体験プログラムの様子

○自然体験プログラムは、ミレナリータワーズエントランスで行われた。内容は薪割り体験と焼きマシュマロであったが、こちらも終始にぎわっており、親子で楽しんでいる様子が多くみられた。

○自然体験プログラムの参加人数は、薪割り体験が 187 人、焼きマシュマロが 486 人であった。



3. 周知活動について

(1) チラシの配布

○チラシを作成し、下記のように配布した。（チラシの内容は既述）

ミレナリータワーズ内	：全戸配布
塚越2丁目町内会	：回覧板
塚越銀座商店街	：当日出店する店舗での配架
町内会掲示板	：周辺町内会掲示板への掲示

(2) ミレナリータワーズ内デジタルサイネージ



(3) インスタグラム

○ミレナリータワーズのInstagramを活用した。（フォロワー82人）

○来訪者アンケートでは、出店した店舗のInstagramをみて知ったという人が数名いた。

※なお、タウンニュース3月22日号で当日の様子を報じる記事が掲載された。

V. 令和5年度さいわい縁むす日の分析と評価

1. 令和5年度さいわい縁むす日の分析

(1) 来訪者数等

○令和5年度「さいわい縁むす日」当日の来訪者数は、750名となった。また時間別の来訪者数は、下記のとおりである。

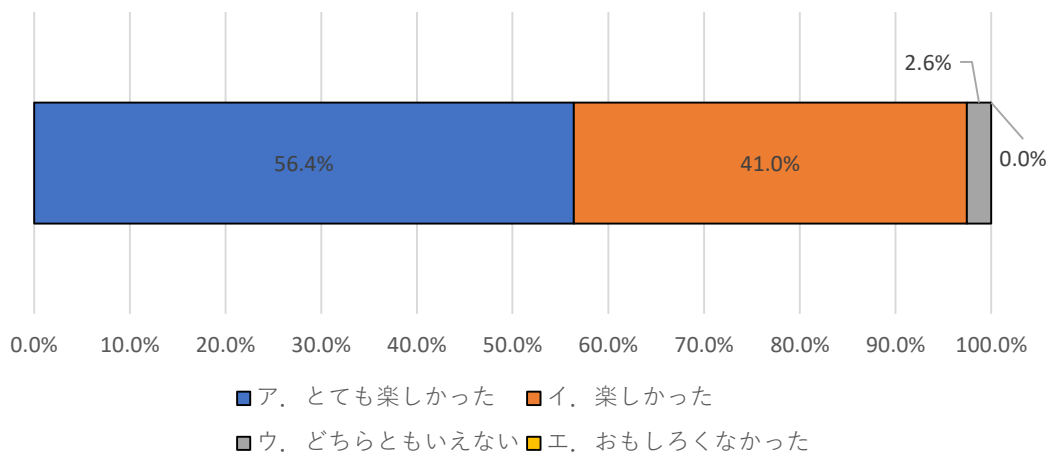
	塚越こかげ公園	エントランス前	合計
10:15	160	10	170
11:15	280	15	295
12:15	180	30	210
13:15	130	18	148
14:15	80	30	110

(2) 来訪者アンケート

○さいわい縁むす日当日の来訪者へ対面でのアンケートを実施した。（78名回答）

①さいわい縁むす日の感想

○95%以上の方が「ア. とても楽しかった」「イ. 楽しかった」と答えた。理由をみると、「子どもが楽しめた」といったようなものが多かった。

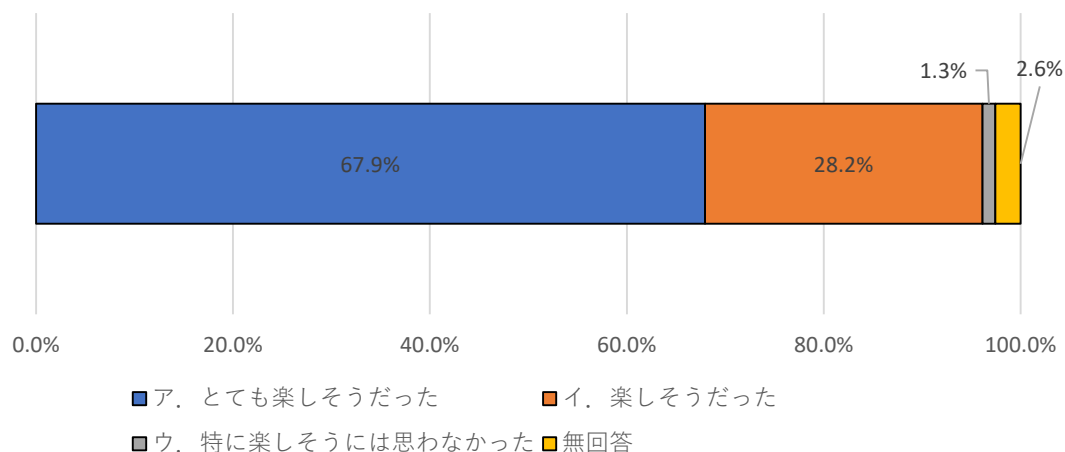


回答	理由
ア. とても楽しかった	子供が楽しめた。 全部面白かった。 子どもが友達と会えた。野菜を買えた。 子どもがゲームとか楽しそうにやっていた。 マシュマロ焼き 食べるものがたくさんあってよかった 子供たちが楽しめた 賑わっていていい 食べ物がよかった いろいろ食べるものがあるいい 酒が飲めるのがいい 去年も来た 去年も来た 子供向けの食べ物もあり良かった。駄菓子屋でお金の使い方を勉強したらしい。(この頃お金を使うことが少なくなっている) 美味しかった。子供が遊んで楽しかった 子供が楽しかったと言っている。 似顔絵が上手。大事にする。 ゲームが楽しかった。 カードゲーム 子供たちの食べるものがあるいい。焼きマシュマロがよかった 子供が買い物ができる。 サターアンダギーが美味しかった 友達と遊べた 薪割り、マシュマロ焼きが楽しかった。 酒が飲めていい はいさい 子どもが楽しめる出店が多かった。マシュマロ、駄菓子 友達がいた お店がたくさんあった。賑わっている 駄菓子屋 明るくて良かった。子供たちが喜んでいた 近所の店、野菜が少なかった 子どもが楽しそうだった。お小遣いで遊べる 美味しいものがいっぱいあった 友達に会える コロナ明けでイベントが少なかったのも、とても楽しかった 子どもが楽しんでいたので いろいろお店があったから 行けつのお店があった
イ. 楽しかった	子供が遊べていい 子供が楽しんでいて、食べ物もおいしかった アイソニアが美味しかった チョコバナナが美味しかった。駄菓子屋が楽しかった。 地域のお店があってよかった。安い よく行くバーが出店していた。ボードゲーム 普段食べられないものが食べられた。野菜 友達が来ている ぷるんぷりんのチョコバナナが美味しかった 駄菓子屋があって、子供が喜んだ

回答	理由
	駄菓子、子どもの出店があって 焼きマシュマロ みんな楽しそう 地域のお店があって 全体的に楽しかった 地域のお店があったから 混んでいなくて物が買いやすい 食べ物 焼きマシュマロ 子どもが遊んでいた。特に孫が 地域のお店が出ていた 駄菓子屋があった 学生と交流できた 近所のお店が出ているところ みんなで吞めること 子どもたちが楽しそうだった
ウ. どちらともいえない	子どもが来るには高い

②運営スタッフは楽しそうにみえたか

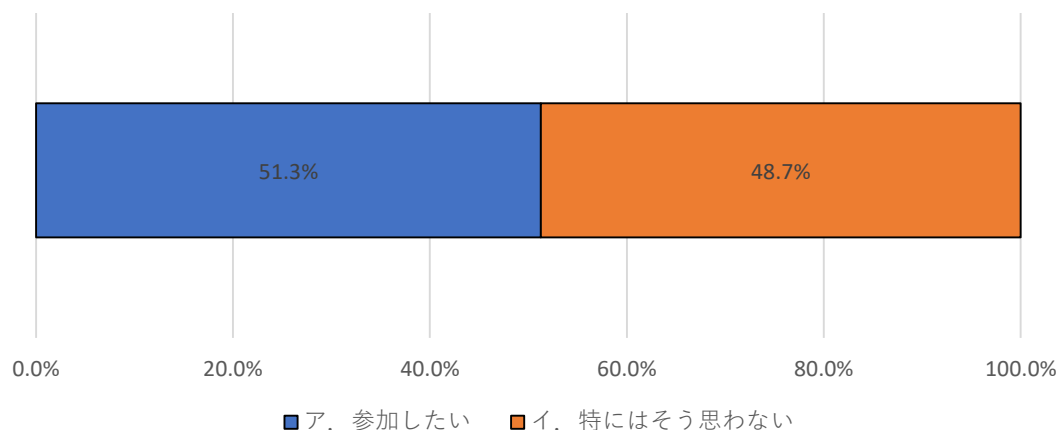
○「ア. とても楽しそうだった」が最も多く、次いで「イ. 楽しそうだった」となっている。「ア. とても楽しそうだった」と「イ. 楽しそうだった」を合わせると、95%を超える。



③今後、運営の手伝いに参加したいか

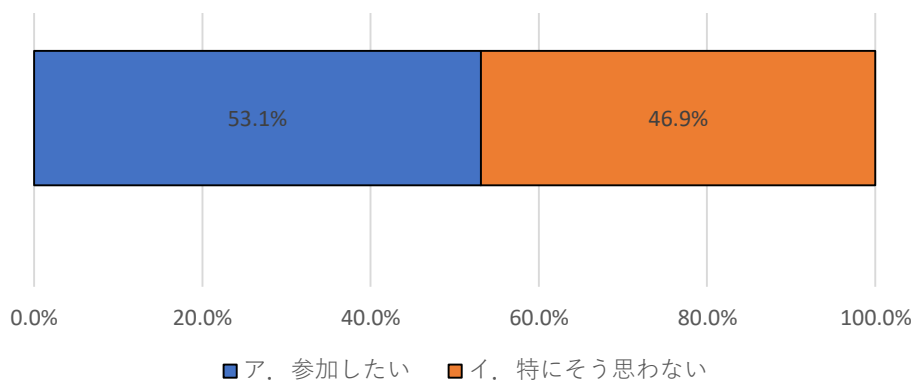
○「ア. 参加したい」が**51.3%**であった。一方で「イ. 特にはそう思わない」は48.7%となった。

※なお、「ア. 参加したい」と回答したうちミレナリタワーズ居住者に対しては、氏名と部屋番号を伺い、次年度以降の声掛けに活用することとした。賛同していただいたのは7名であった。

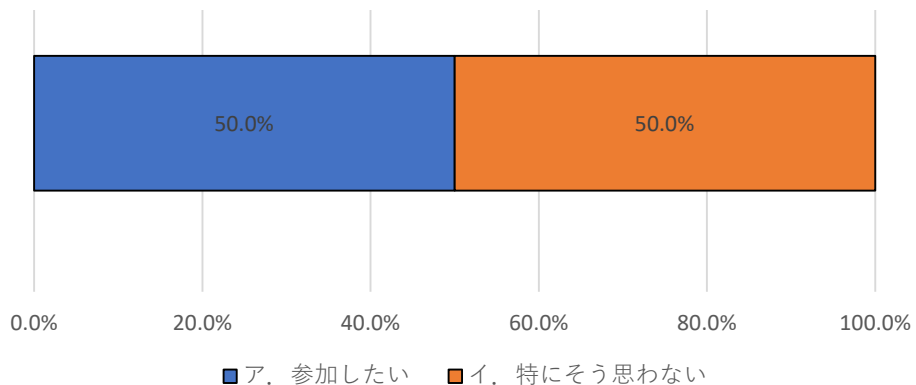


■居住地別運営に参加したいか

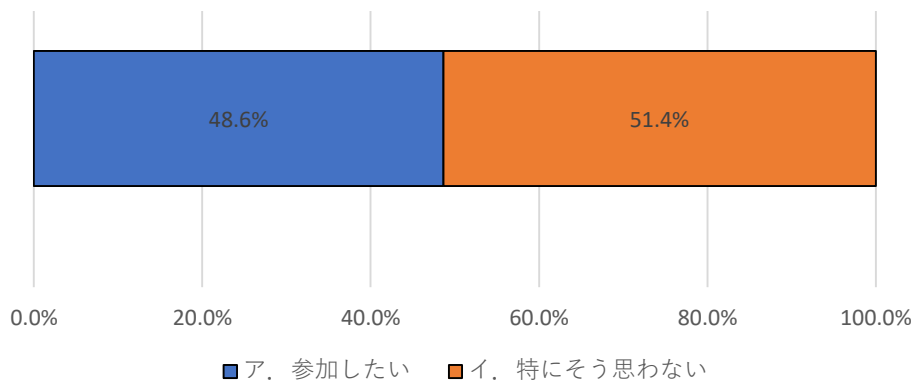
＜ミレナリータワーズ居住者：32人＞



＜塚越2丁目居住者：8人＞

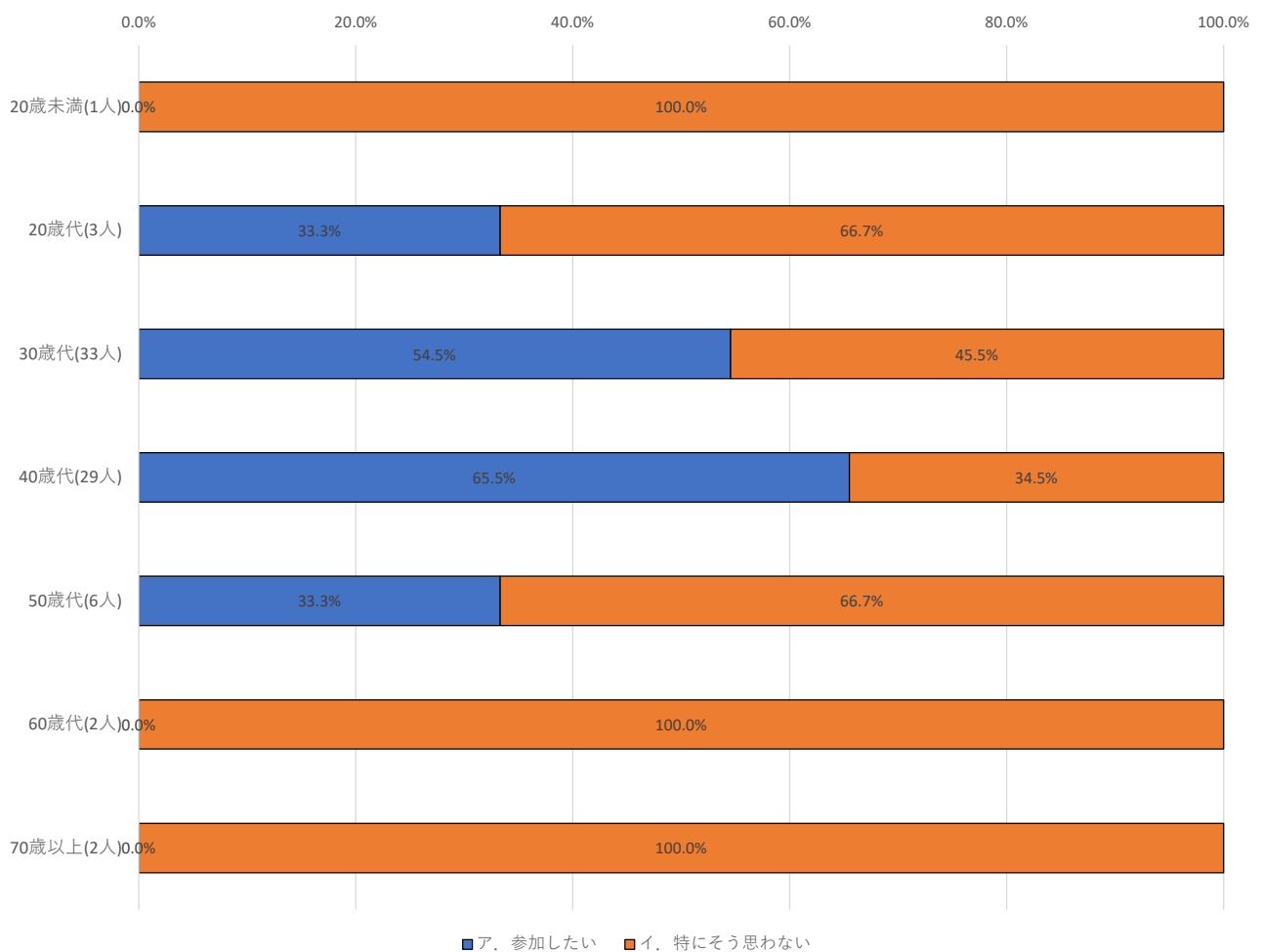


<ミレナリータワーズ・塚越2丁目以外>



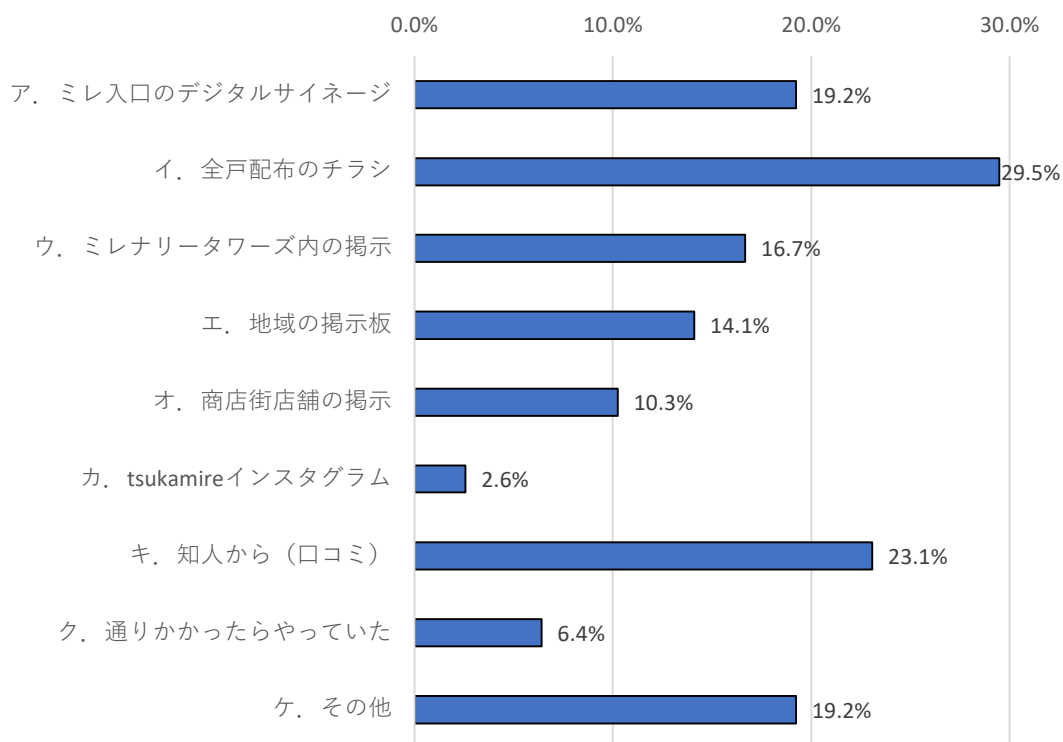
■年代別運営に参加したいか

- 年代別に運営に参加したいかを見ると、各年代の人数に偏りがあるが、子育て世代である 30 歳代と 40 歳代で、「ア. 参加したい」と答えた人が多かった。



④今日のイベントを知りえた方法

○今回の「さいわい縁むす日」を知りえた方法としては、最も多い方法が「イ. 全戸配布のチラシ」、次いで「キ. 知人から（口コミ）」が多かった。また、その他に出店店舗のInstagramがあった。

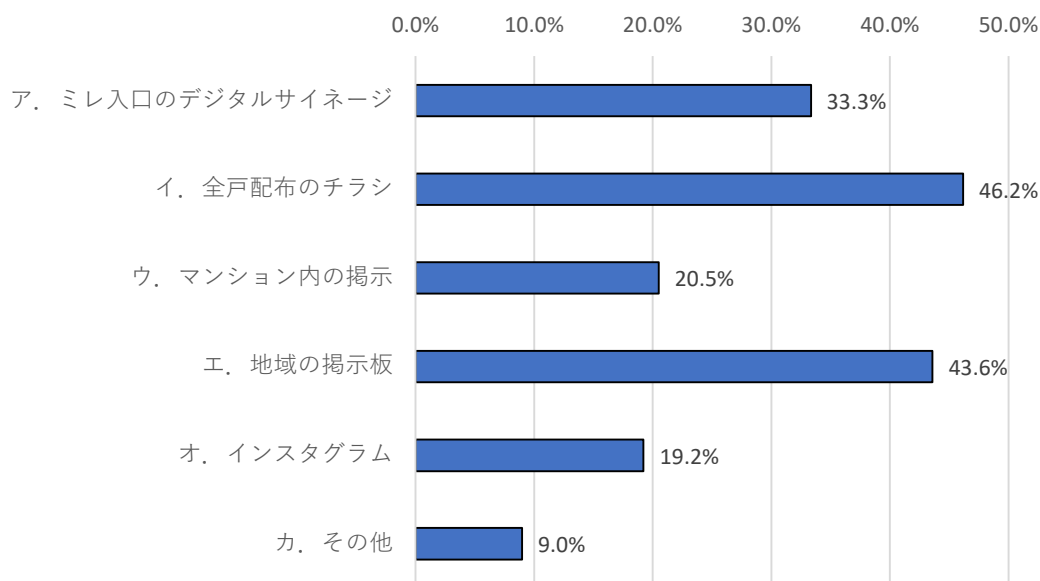


<その他の回答>

- 妻がどこからか聞いてきた。
- はいさいでチラシをもらった
- 全戸配布のチラシ（回覧板かもしれない）
- 子供が古川小に通っていて、その友達から。
- LIFE で子どもの友達と会って誘われて一緒に来た
- 回覧板
- ミレナリー以外の Instagram を見て
- ぷるんぷりんの Instagram を見て
- 何かのサイトから見たと思う
- ママ友にチラシを貰った
- ぷるんぷりんの Instagram を見て
- O'clock で教えてもらった
- 区内のイベント

⑤ イベント情報など入手しやすい方法

○ イベント情報など入手しやすい方法については、「イ. 全戸配布のチラシ」が最も多く、次いで「エ. 地域の掲示板」、「ア. ミレ入口のデジタルサイネージ」が多くなっている。



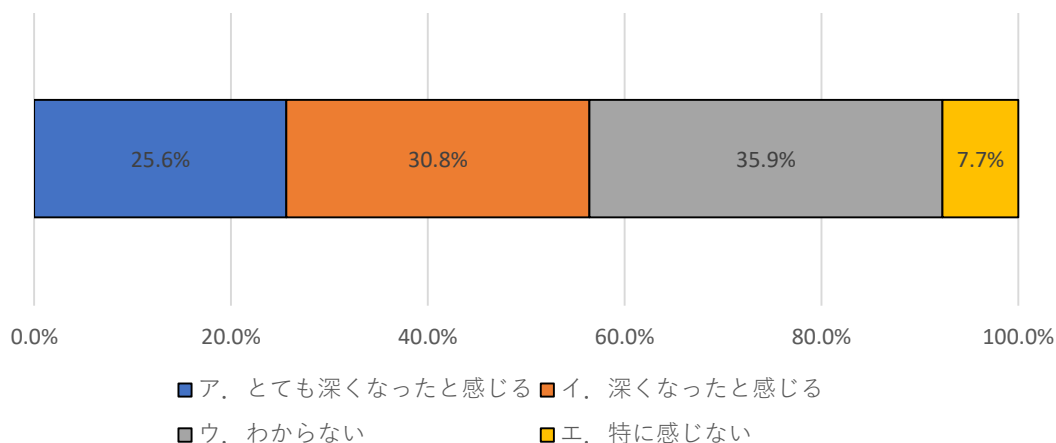
<その他の回答>

- 保育園や小学校で告知してもらえるといい
- 駅にチラシを置いてくれるといい
- 保育園とかで教えてもらえるといい
- 口コミ

- 駅とかに置いて欲しい
- 商店街の掲示
- 学校のお知らせなどで

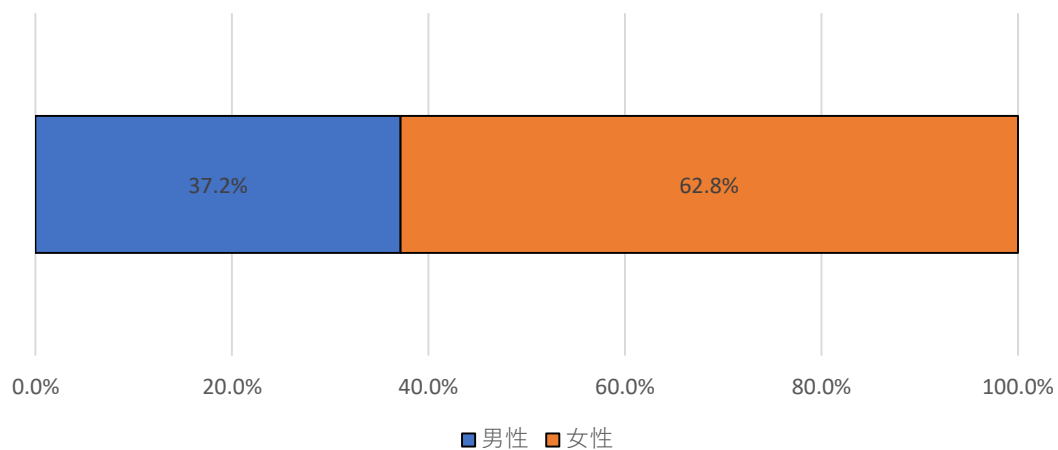
⑥ 「さいわい縁むす日」で住民同士の交流は生まれたか

○ 「ウ. わからない」が最も多く、次いで「イ. 深くなったと感じる」が多くなっている。

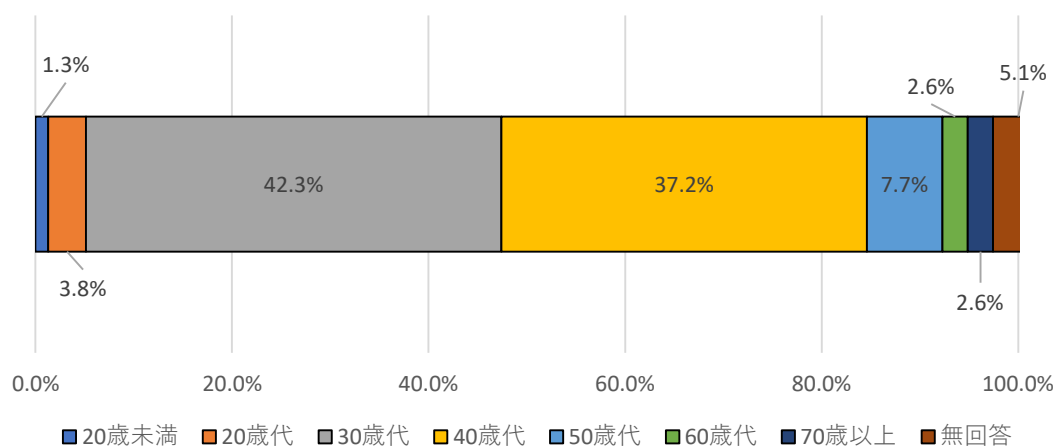


⑦回答者の属性

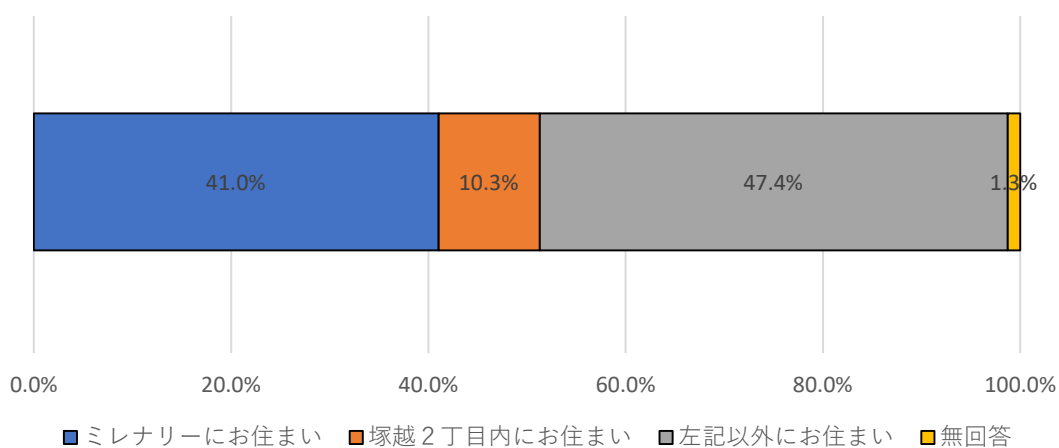
<性別>



<年代>



<居住地>



⑧どのようなイベントや活動があったら、自治会活動に参加したいか

- ・「どのようなイベントや活動があったら、自治会活動に参加したいか。」で出された意見を整理すると、下記の通りとなった。

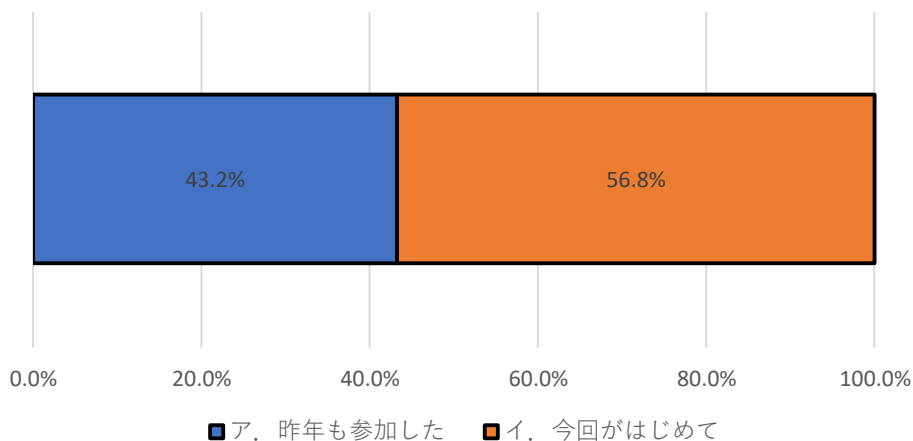
意見の整理	意見
■子どもが楽しめる・子どもと一緒に参加できるイベント	○子供が参加しやすいイベント ○子供と一緒に参加できるイベント ○イベントとしてだと参加しやすい。子供と一緒に参加できる。 ○子どもが楽しめるイベント ○子どもが身体を動かせるやつ ○子ども向けのイベント ○子どもが楽しめるイベント ○子どもが楽しめるイベント、活動 ○子ども関係 ○子どもメインの活動があったら参加したい ○子どもの楽しめるイベント ○小さな子ども向けのゲームコーナーあったら良い ○子どもが喜びそうなイベント ○学年関係なく、子どもが繋がれるイベント ○子どもと大人が楽しめるイベント。吞んで交流できる。子供も飽きない
■今日の「さいわい縁むす日」のようなイベント	○今回のようなイベント ○さいわい縁むす日のようなイベントが地元にあると良い ○今日のようなイベント ○さいわい縁むす日のようなイベントがあれば ○さいわい縁むす日のようなイベント ○今日のようなイベント ○今日のようなイベント ○こういうのが定期的にあったら ○こういうイベントがうちの自治会にあると良い。商店街のお店があるのが良かった ○さいわい縁むす日のようなイベント ○このようなイベント、こ文のイベントと協力、地域教育会議のイベントの手伝いなど
■お祭り	○おまつり ○お祭りなど ○お祭りとかがあるといい ○お祭り ○夏祭りみたいなイベント
■その他	○知り合いにスタッフがいたようで、今朝ちょっとだけ手伝ったようです。子供が大きくなったら、いつかは参加したい。その時はご自分から言うそうです ○すでにいろいろ出ている。小学校でやるイベントとか。 ○フリーマーケットがあれば参加したい ○スポーツイベント ○いろいろなお店が出たり、区民祭縮小版みたいなもの ○事前にスケジュールがわかっているとよい ○環境に関する活動 ○オープンなイベントがあるといい

(3) 運営スタッフアンケート

○さいわい縁むす日の運営にかかわった、ミレナリータワーズ自治会、塚越2丁目町内会等メンバーに対して、アンケートを実施した。（回答者数：37名）

①昨年のさいわい縁むす日も運営スタッフとして参加したか

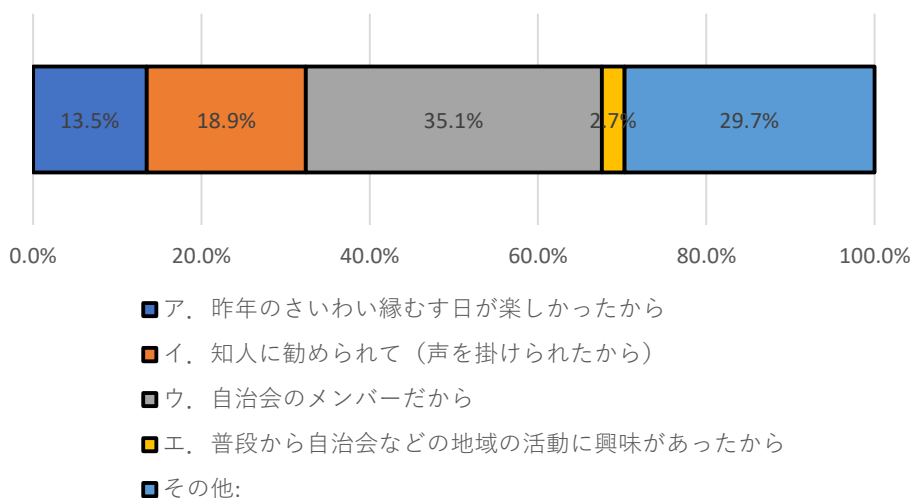
○昨年のさいわい縁むす日も運営スタッフとして参加したかについては、**56.8%**が「イ. 今回がはじめて」で、43.2%が「ア. 昨年も参加した」と答えた。



②運営スタッフとして参加した理由

○運営スタッフとして参加した理由については、最も多い理由が「ウ. 自治会のメンバーだから」、次いで「その他」が多く、次に「ア. 昨年のさいわい縁むす日が楽しかったから」となっている。

○その他で出された回答は、下記のとおりである。

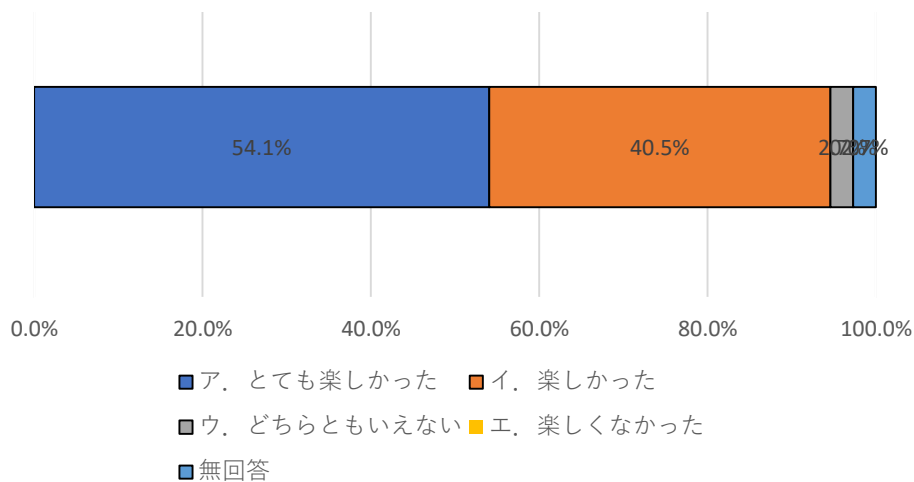


<その他の回答>

- こども会役員 ○業務 ○学校に依頼があったから
- 参加依頼を受けて ○地域の方々に支えてもらってるから
- 子供会役員だから ○子供会メンバーなので ○子供会のメンバーだから

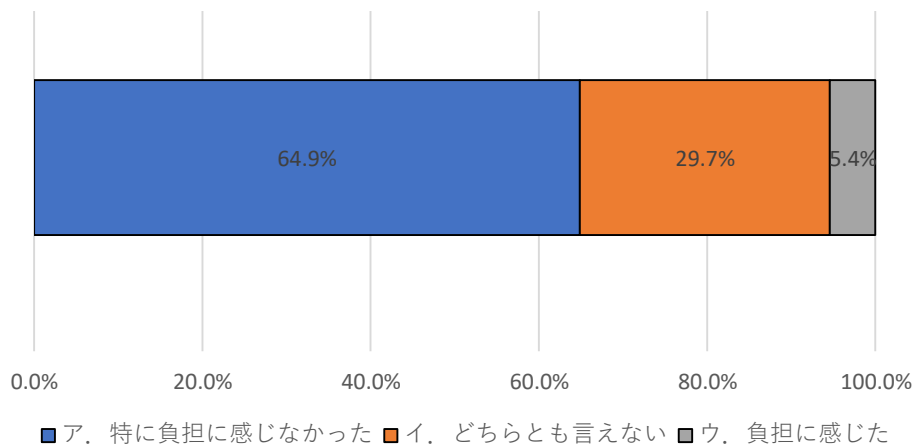
③今回運営スタッフとして参加した感想

○今回運営スタッフとして参加した感想については、「ア. とても楽しかった」が最も多く **54.1%**、次いで「イ. 楽しかった」が **40.5%**となっている。



④運営スタッフとして参加して負担を感じたか

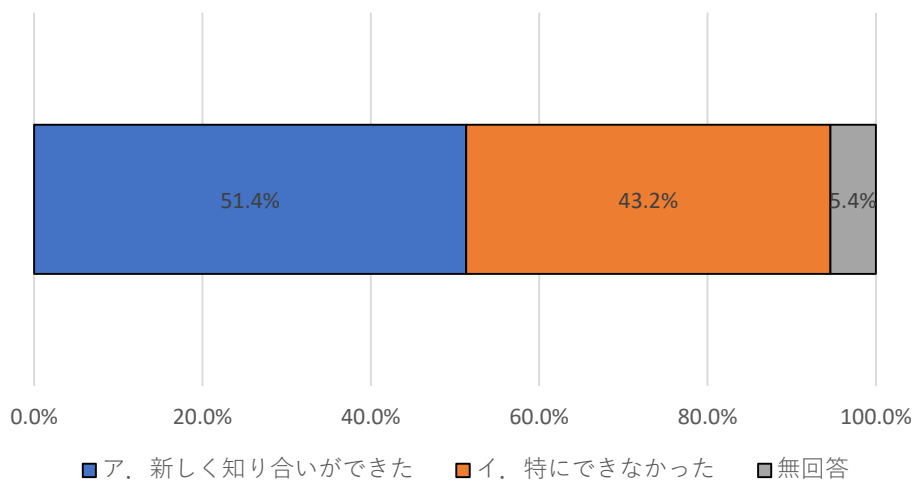
○運営スタッフとして参加して負担を感じたかについては、「ア. 特に負担に感じなかった」が 64.9%、「イ. どちらとも言えない」が 29.7%、「ウ. 負担に感じた」が 5.4%となっている。



負担を感じた理由：○うまく役割を分担することが出来なかった

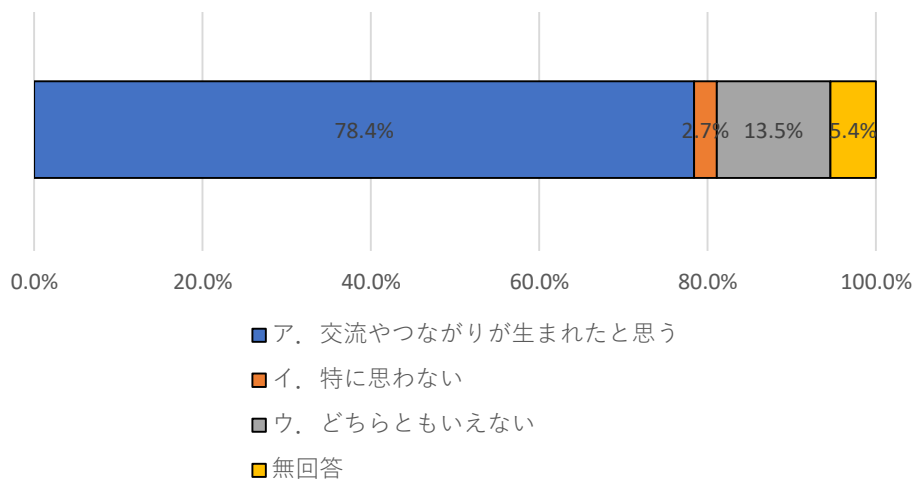
⑤さいわい縁むす日を通じて、新しく知り合いはできたか

○「ア. 新しく知り合いができた」が **51.4%**、「イ. 特にできなかった」が 43.2%となっている。



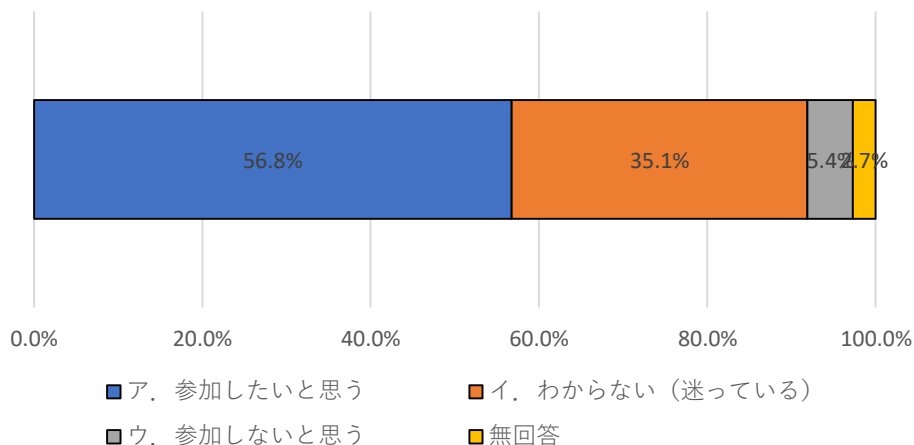
⑥さいわい縁むす日を通じて、住民同士の交流やつながりが生まれたか

○さいわい縁むす日を通じて、住民同士の交流やつながりが生まれたかについては、「ア. 交流やつながりが生まれたと思う」が **78.4%**で最も多く、次いで「ウ. どちらともいえない」13.5%となっている。



⑦今後も運営スタッフとして参加したいと思うか

○今後も運営スタッフとして参加したいと思うかについては、「ア. 参加したいと思う」が56.8%が最も多く、次いで「イ. わからない（迷っている）」が35.1%となっている。
○理由は下記のとおりである。



回答	理由
ア. 参加したいと思う	○自分も楽しいし、みんなの喜ぶ姿を見るのも楽しいので ○楽しかったため ○準備段階から、皆んなで楽しめるからです ○楽しく参加出来た。 ○もっと、会を盛り上げて恒例の行事になり、子供達が大人になり、思い出の1ページになってくれたらと、思いました。 ○皆さんと交流が出来てとても良かったです。 ○楽しかったから ○イベントを有意義と考えるから ○地域コミュニティの活性化に繋がると感じたから ○何かの役に立てばと思って。 ○この地域にいて楽しいと思う。 ○子供会メンバーで来年度の役員と一緒に参加予定のため ○子供達の楽しそうな様子が嬉しく思う ○子供達に〇〇ちゃんのママだよね、と話し掛けられるのが嬉しかったからです ○地域のイベントに興味があるから ○目的があるから
イ. わからない	○またお手伝いをする場合は参加します ○関係部署で業務として携わっていれば参加する ○友達と一緒に参加したい ○区役所無しでの自走となるとなかなか大変かなと感じているため。 ○当日の予定次第で参加を検討します ○乳幼児がいるので
ウ. 参加しないと思う	○住民として子どもと参加したい。

⑧地域コミュニティの活性化や地域活動に参加するためのアイデア等

○「地域コミュニティの活性化や地域活動に参加するためのアイデア等」を聞いたところ、下記のような意見が出された。

- 今回在校生や卒業生に声をかけて見て、自分の得意を活かせるボランティアはやりたいと思っている子がいるとわかりました。帰りに参加した高校生から「またこういうイベントあったら呼んでください」と言われました。
- クラブチームが半強制的に子供会に入ること、清掃や資源回収等の社会活動に積極的に参加しやすくなるとともに活動が高齢化している問題の解消に繋がると考える。
- 裏方のスタッフは大事だと改めて感じました。
- 防災訓練やハロウィン、クリスマスなど季節のイベントに合わせてなにかやるのが良さそう
- 民間有志の出店募集をしてもよいかも
- 地元愛をいかに育むかが大切と感じた。このようなイベントがあるとよいなと感じた。
- どんなと言われるとまだノーアイデアですが、もっと直接的に、まだ知らない人とのコミュニケーションを作ることが出来る様な『何か』をやれたら良いなあ、と感じました。
- 自治会運営者の1人として、地域の繋がりは大事に思いますが、自治会運営者以外の手を借りるのにはまだ課題がありそうです。
- また、リスク管理の為とは思いますが、地域の飲食店のオリジナルドリンクが販売出来ないのは少し残念に思いました。
- 現状の活動が忙しく思いつかない
- 色々な人と知り合いになる事ができて良かったです
- ミレナリー自治会はよく頑張っていたと思います。もう少しお祭り感が欲しいと感じました。
- 小単位のクラブ組織の紹介の機会を持つ
- 交流の仕組み化

⑨行政に求めることについて

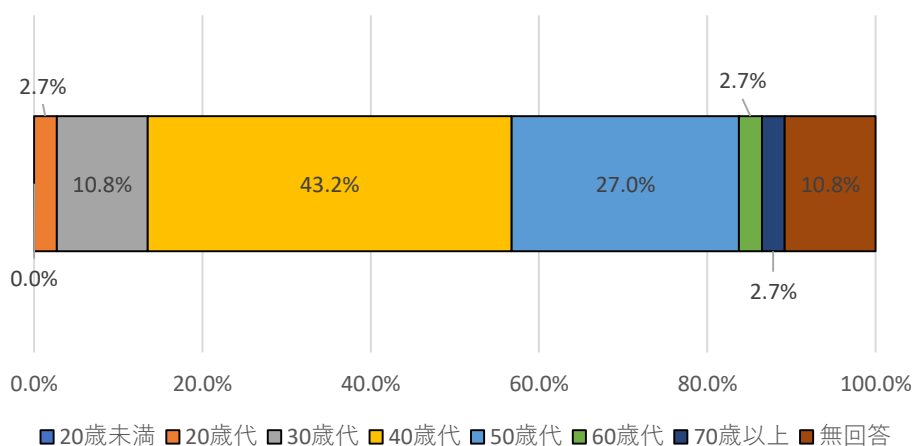
○「行政に求めることについて」を聞いたところ、下記のような意見が出された。

- 高齢化問題、新たな地域活動の担い手探しについて
- もっと、いろんな地域で“縁むす日”が開催されるといいな！と思います

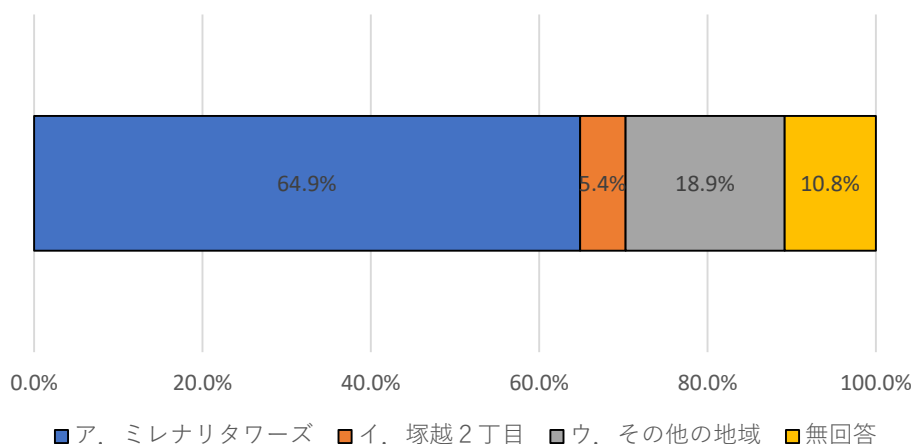
- さいわい縁むす日のようなイベントを様々な自治会に働きかけて行ってほしい。横のつながりを自発的に始めるのは難しいと思う
- 今回のような各種コンテンツの斡旋、パイプ役を期待したい
- 今回のようなイベントを行うためには行政側のサポートがないと難しいと感じる（自治会だけでは、どうしても内輪になってしまい、外に向けた発信までの力もノウハウもないため）。一方で、行政側もつきっきりでのサポートは難しく、たとえば自治会でイベント会社を雇った場合に補助が出るとかあると活用できるかと考える。
- 前日までの、お祭りなどイベント運営者の負担を減らすこと
- 現状に不満等ない
- プログラム評価を導入すべき

⑩回答者の属性

1) 年代



2) 居住地



(4) 振り返り

○さいわい縁むす日開催後（3月15日）に振り返りの会を開催した。そこで出された意見は下記のとおりである。

出席：ミレナリタワーズ自治会（4名）塚越2丁目町内会（1名）塚越銀座商店街（1名）
幸区役所（2名）コンサルタント（1名）

■振り返り項目

- ①今年度の「さいわい縁むす日」及び「強化月間」の反省点、感想など
- ②住民同士の交流や結びつきに効果について
- ③近隣の自治会、商店街等との連携について
- ④「さいわい縁むす日」を通じてノウハウを得られたか、また、今後の自信につながったか
- ⑤自走による開催の可能性について、行政から支援について
- ⑦その他

①今年度の「さいわい縁むす日」及び「強化月間」の反省点、感想など

■商店街等と連携できたことが良かった・交流することができて良かった

○今回は塚越銀座商店街から出店があったが、お店の人たちと交流することができて良かった。
今まであまり交流することはなかった。

○中高生が似顔絵かきで参加してくれてよかった。似顔絵を通じて交流できた。

■新鮮野菜直売は人気なので、もっと充実させたい

○新鮮野菜の直売は、今年もあっという間に売れてしまった。もう少し量と種類があると良い。
少し遅く来た人は、野菜が無くなって残念がる人がいた。

○当初予算の4万円が良かったどうか検証する必要がある。

■その他

○区長が来て、開会式であいさつしたことは良かった。花を添えていただいた感じである。

○今回は昨年度と比べて来訪者が少し少なかった感じがする。同じ人が長時間滞在し交流スペースで交流していたこともあって、昨年度と比べて落ち着いていた感じがした。

②住民同士の交流や結びつきに効果について

■新しくスタッフになってくれた人がいた・話せるようになった

○今回、新しく運営スタッフになってくれた住民がいた。今まで顔しか知らなかったが、話せるようになった。

○運営スタッフは、今回を通じていろいろ話せるような関係になったと思う。

■塚越2丁目町内会や塚越銀座商店街と関係性ができた

○塚越2丁目町内会の役員や塚越銀座商店街からの出店者の人と関係性ができた。

③近隣の自治会、商店街等との連携について

■連携することによって、子どもたちが喜んでくれる企画が多くできた

○謎解きが子どもたちから人気だった。子どもたちから謎解きのことを良く聞かれた。

○お店の前のなぞなぞに、子どもたちが集まっていた。

○国際自然大学の薪割り、焼きマシュマロのプログラムも良かった。子どもたちが喜んでくれた。

■団体ごとに分担がしっかりでき、負担が少なかったのではないかな

○今回、ミレナリー自治会や塚越2丁目町内会と一緒にやったが、良かったことは、お店に集中できたことである。以前は商店街でイベントをやっていたが、警備などのスタッフも各店舗から出さないといけなかったので、人の手配が大変だった。特に最近では店舗も減っていることもあり、マンパワーも少ない。今後も一緒にやれると良い。（商店街からの意見）

○令和4年度は、出店も警備もほとんどのことをミレナリー自治会のメンバーで行った。今回は、いろいろな団体が関わってくれたので、自治会の負担は少なかったと思う。一方で、参加団体等との調整が大変だった。特に行政に出す申請書類のやり取りが大変だった。

○消防団の警備も良かった。消防団の格好のおかげで、歩行者が横断歩道を渡るとき、車が止まってくれた。

■地域のことや地域のお店を知る機会ができた

○今回、塚越2丁目町内会や商店街と連携することにより、来訪者は地域にどんなお店があるかなど地域を知る機会になったと思う。

○参加者のアンケートでは、今回のさいわい縁むす日で良かったこととして、地域のお店が出店していることを挙げる人がみられた。気になっていたが入ったことがないお店を知れて良かったという意見があった。

○会場に商店街マップ（案内）があった方が良かった。お店の紹介につながったと思う。

■過去にあったイベントが復活できた

○塚越銀座商店街の夜店がなくなってしまったことが、地域の人から残念だったと聞く。これに近いイベントができて良かったと思う。ただ、夜店の方が良いと思う。

■その他

○どこの出店もある程度売れたようだ。また今回は出店料もなかったなので、赤字にはなっていないようである。

④「さいわい縁むす日」を通じてノウハウを得られたか、また、今後の自信につながったか

■関連行政への申請方法がわかった

○行政への申請書類、公園などの占有許可などの取り方を知ることができた。今後は自分たちでやれると思う。

⑤自走による開催の可能性について、行政から支援について

■自走にあたって開催のための予算調達方法を検討する必要がある

○去年は、お店も自治会側でやったので、それなりに収入があった。今年度は、基本お店になってもらったので、自治会としての収入はほとんどない。このような状況で続けられるかどうか疑問である。

○今後は、テントなどのレンタル料や出店料の徴収なども検討する必要がある。

■行政からは引き続きテントやテーブルなどの大型資材類の支援がほしい

○イベントの運営に関してはできると思う。ミレナリー自治会だけでやろうとすると、資材がすくない。テーブルやテントを借りたい。このイベントだけのために、テーブルやテントを買うのは難しい。

○テントなどは、出店するお店が準備すれば良いのではないか。

○テントやテーブルなど、自治会側で準備してくれるので、お店も参加しやすい。

○イベント補助として、町内会・自治会活動応援補助金が申請できる。

⑥地域コミュニティの醸成や担い手を増やすための方法

■年に1回よりも規模が小さくて良いので、コンスタントに開催する

○単発でイベントをやってもつながりはなかなか作れない。小さくても良いからコンスタントにやっていく必要がある。

○町内会自治会は、年間で行事が決まっている。コンスタントにやるためには、負担が少ないものでしかできない。

⑦その他

○今回、交流スペースをテーブルだけにしたのは、いろいろ交流ができて良かったと思う。

2. 令和5年度さいわい縁むす日の評価

(1) 評価項目

○さいわい縁むす日について、自治会メンバーから出された意見や、来場者アンケート、運営スタッフアンケートの結果を踏まえて、次の項目について分析を行った。なお、評価項目は事業の目的や仕様書等を踏まえて設定した。

- ①自治会が自分たちで場を開くことができたか
- ②自発的に参加してくれる人を見つけ出すことができたか
- ③多くの人に周知することができたか
- ④地域の活動を可視化することができたか
- ⑤住民同士がつながる場をつくることができたか
- ⑥今後の担い手をみつけることができたか
- ⑦次年度以降に自走による開催はできそうか

(2) 評価

①自治会が自分たちで場を開くことができたか

○令和5年度の「さいわい縁むす日」については、ミレナリータワーズ自治会がベースを企画し、具体的な企画や運営の実施を塚越銀座商店街の出店店舗、塚越2丁目町内会、幸市民館謎解きサークル、塚越中学校美術部、市民活動団体「まことさがし」などの連携団体が担った。このように団体ごとで役割分担できたことにより、令和4年度と比較して企画内容が充実していたことと、開催にあたってのそれぞれの負担が減ったと思われる。

②自発的に参加してくれる人を見つけ出すことができたか

○今回の新しい試みとして、ミレナリータワーズ全戸に対してお手伝い募集のチラシを配布し、顔合わせ会と称した説明会を開催した。1人の申し込みがあったが、当日に体調不良のため出席できなかった。このため参加者は0人だった。

○お手伝い募集のチラシを配布と顔合わせ会と称した説明会の開催については、まちづくりコンサルタントからの提案であったが、当初、自治会のメインメンバーからは、チラシで募集するよりも個々に依頼する「一本釣り」の方が有効であるという意見があった。実施の結果、その通りであった。

○このようなことから、全戸配布で募集するような、自発的に参加してくれる人を見つけ出すことは難しいことが分かった。効果的な募集としては、直接依頼することと考えられる。

③多くの人に周知することができたか

○強化月間の企画として、塚越銀座商店街のお店を巡る謎解きを、幸市民館謎解きサークルの中高生に協力してもらい作成した。これが、ミレナリータワーズをはじめとした地域の子もたちに好評で、当日に答えを書いたチラシを持ってきた人が、150人程度いた。

○イベントの周知だけでなく、商店街をはじめとする地域を知ってもらえる機会になったと思われる。

④地域の活動を可視化することができたか

○全戸配布のチラシやチラシの裏面の謎解きなどによって、「さいわい縁むす日」に興味関心がある人を増やした。また、「さいわい縁むす日」当日の企画は、子どもが楽しめるものが多かったことから、一緒に来た親に自治会活動の関心を持ってもらう機会になったと思われる。

○一方で、②で示したように、自ら運営に参加したいと申し出た人は1名となった。

⑤住民同士がつながる場をつくることができることができたか

○来訪者アンケートでは、住民同士の交流が「とても深くなったと感じる」「深くなったと感じる」と答えた人は、合わせると5割を超える。また、運営スタッフアンケートでは、「交流やつながりが生まれたと思う」と感じた人が7割を超えている。このようにそれぞれのアンケートでは高い結果になっている。

○当日の雰囲気をもても、飲食ができる交流ブースで、お酒を飲みながら歓談していた人が多くいた。このように交流の機会としては、評価できる機会をつくれたと思われる。

○一方で、ミレナリータワーズとしては年1回しか開催しておらず、これが住民同士がつながる場としてどこまで有効か不明なところもある。自治会のメンバーからは、もっと簡単でできるイベントで、定期的（2か月に1回程度）に開催する方が有効ではないかという意見があった。

⑥今後の担い手をみつけることができたか

○運営スタッフアンケートにおいて「昨年も運営スタッフとして参加したか」を聞いたところ、「今回がはじめて」が 5 割を超えている。このように、「さいわい縁むす日」が、自治会活動に参加するきっかけになっていることがわかる。

○また、運営スタッフアンケートの別の質問において「今後も運営スタッフとして参加してみたいか」と聞いたところ、「参加したいと思う」と答えた人は 5 割を超えた。また、「わからない（迷っている）」と答えた人は、約 3 割だった。

○また、運営スタッフとして参加して負担を感じたかについては、6 割を超える人が「特に負担を感じなかった」と答えている。

○このように、運営スタッフまで関わると、今後も担い手として続ける可能性が高くなると考えられる。

○来訪者アンケートにおいて、「運営のお手伝いに参加したい」と回答した人のうち、ミレナリタワーズ居住者に対しては、氏名と部屋番号を伺ったところ、賛同して教えてくれた人は、7 名であった。これも成果であると考えられる。

⑦次年度以降に自走による開催はできそうか

○この 2 か年でミレナリタワーズ自治会が得たノウハウや周辺地域や団体との連携を活かすことにより、次年度以降の「さいわい縁むす日」の自走は可能であると考えられる。

○一方で、「さいわい縁むす日」の目的である、「地域コミュニティの醸成」や「担い手を増やす」を考えると、上記⑥で記したように、負担が少ない形で定期的を開催するなど、令和 4 年度、5 年度と違った方法を模索することも考えられる。

VI. 今後のさいわい縁むす日について

1. 実施地区拡大や好事例展開のためのロードマップ

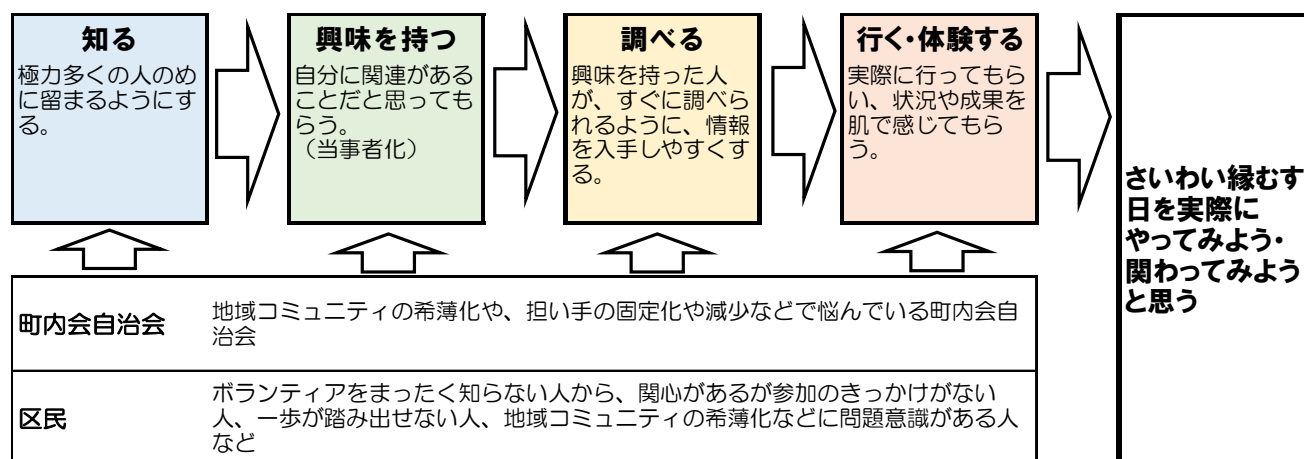
(1) 考え方

○令和4年度及び令和5年度の来訪者アンケートでは、5割程度の人が、「今後、運営のお手伝いに参加したい」と答えており、潜在的に「さいわい縁むす日」のような取り組みや、イベントの運営に参加したい人は多いと考えられる。このため、参加するきっかけや容易に活動の内容を知ることができれば、運営に参加する人が増えると考えられる。

○このようなことから、実施地区拡大や好事例展開のためには、まずは、地域活動を知ってもらうことや、関心を持ってもらうこと、さらには実際に行って・参加してもらい、「さいわい縁むす日」の実施の必要性を実感してもらう必要がある。

○ここで参考になるのが、商品の広報やシティーセールスなどのPR活動の考え方である。PR活動では、展開していく際に「どの段階の人々に」、「どの手段を活用して」、魅力情報を発信していくかが重要と言われており、この考え方を『AISAS（アイサス：Attention, Interest, Search, Action, Share）』と言う。この考え方を参考にして、ミレナリータワーズで実施したさいわい縁むす日を踏まえ、実施地区拡大や好事例展開の方法を整理した。

■AISASを参考にした幸区で展開するための考え方



（２）取組内容について

①段階ごとの取組内容について

○上記の段階ごとの取組内容は、次のように考えられる。

■「知る」段階：多くの人の目に「さいわい縁むす日」を留まるようにする

○まずは、なるべく多くの幸区民に「さいわい縁むす日」という名称を認知してもらう必要があると考えられる。このため、普段から「さいわい縁むす日」というワードを多くの人の目に留まるようにすることが必要である。これによって、区民に「何だろう？」と思わせる。

○このようなことから、取組例としては次のようなものが考えられる。

＜取組例＞

○昨年度デザインしたロゴマークのポスターやバナーを区役所を含めた公共施設や人が集まる場所に掲示する。

○幸区民祭をはじめとした区内のイベントで、ロゴマークのポスターを掲示することや、さいわい縁むす日の概要を載せたチラシを配布する。

など、区内のあちらこちらでロゴが目に入るようにする。



■「関心を持つ」段階：必要性を感じてもらう

○「さいわい縁むす日」が身近なものであることや、自分が住む地域に必要であることを分かってもらう必要がある（当事者化を図る）。このためには、漠然と感じている地域の不安が、地域コミュニティの醸成によって解決することを知ってもらう。

○具体的には、防災や防犯、高齢者の見守りなどの地域課題が、地域コミュニティ醸成によって解決されることを示す。

■「調べる」の段階：情報発信

○知る～関心を持つ段階で知り関心を持った人は、もっと知りたい、情報を得たいと思うと考えられる。このため、専用のホームページを作って SNS 等で展開するなど、気軽に情報を得られるような環境をつくる。

<ミレナリータワーズ事例の紹介>

- 多くの人に「さいわい縁むす日」の理解を深めてもらうために、ミレナリータワーズで開催された事例を紹介する。
- 紹介する内容は、開催された内容、連携した団体、開催した効果、担い手からの声 など
- 事例紹介は、専用のホームページを作成することと合わせて、SNS 等も活用して展開する。また、印刷物も作成する。

■「行く・体験する」の段階：実際に参加する

- 「さいわい縁むす日」に興味・関心がある人は、「さいわい縁むす日」を見に行く、体験できるようにする。このため、「さいわい縁むす日」がいつ開催されるか、わかるようにする必要がある。
- また、「さいわい縁むす日」を開催する人たちから、話を伺う機会や交流できる機会を設けることも考えられる。

<ミレナリータワーズ自治会の場合>

- ミレナリータワーズで行った「さいわい縁むす日」では、町内会連合会会議で周知を行い、また、ミレナリータワーズ自治会長が交流のある区内の町内会自治会長に声をかけ、見に来ていただいていた。当日に見に来ていただいていた他の地区の町内会自治会長に意見を伺ったところ、「マンパワーなどの心配があるが、ぜひ自分の地域でもやってみたいと思う。」といった声が聞かれた。このように、実際に見に行くことにより、「さいわい縁むす日」の必要性を感じてもらい、地元で検討するきっかけになることがわかる。

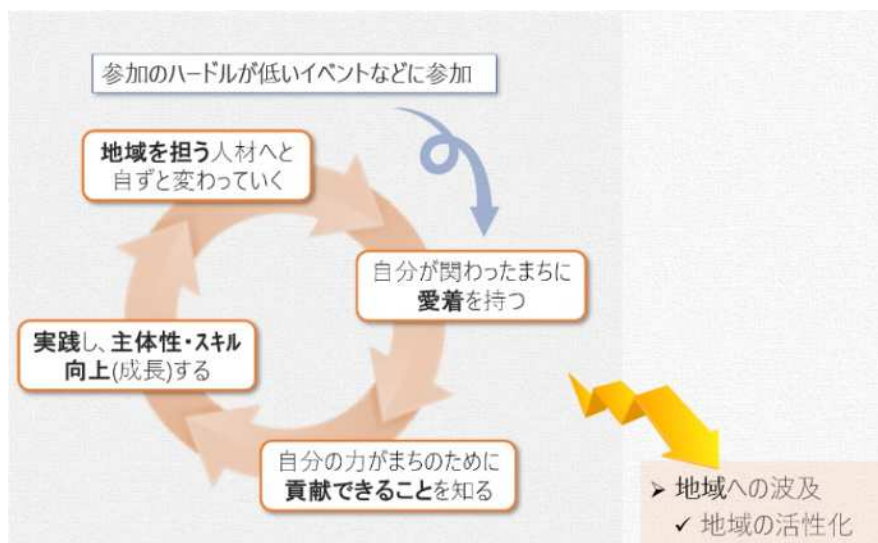
②担い手を増やすための考え方について

○先に述べたように、令和4年度及び令和5年度の来訪者アンケートでは、5割程度の人が、「今後、運営のお手伝いに参加したい」と答えており、潜在的に「さいわい縁むす日」のような取組やイベントの運営に参加したい人は多いと考えられる。一方で、参加のきっかけがないという人も多いようである。

○このため、好奇心をくすぐり、参加のハードルが低いイベントなどを実施することが重要である。関心が高く参加しやすいイベントとは、自分の子どもが興味を持って参加できることや、地域防災に関わることなどが考えられる。

○まずは、参加のハードルが低いイベントなどに参加することからはじめ、参加していくうちに自分のまちに愛着を持つようになる。そして、自分の力がまちのために貢献できることを知ることになり、それにより主体性の向上やスキルの向上を目指したくなる。そして、地域を担う人材へとなっていくことが考えられる。

○このようなイベントに参加した人を、徐々に運営側に取り込んで担い手を増やすことが重要だと考えられる。



<ミレナリータワーズ自治会の場合>

○「さいわい縁むす日」の全体の振り返りのなかで、「単発でイベントをやってもつながりはなかなか作れない。小さくても良いからコンスタントにやっている必要がある。」という意見が出された。

○参加のハードルが低いイベントとして、負担が少ないがコンスタントに開催するものも考えられる。

2. 自走のための事業スキーム

○令和4年度～令和5年度のミレナリータワーズ自治会で開催した「さいわい縁むす日」を踏まえると、自走のための事業スキームは次のように考えられる。

(1) 考え方

○幸区は川崎市のなかでも、町内会自治会の活動が活発であることから、「さいわい縁むす日」のベース(主になる団体)になる団体は、今後も町内会自治会が望ましいと考えられる。また、町内会自治会が「さいわい縁むす日」を自走で継続して行うためには、実施にあたって弱い部分を明らかにすることが必要だと考えられる。

○このようなことから、実施にあたって弱い部分を明らかにするためには、まずは町内会自治会だけで実施し、弱い部分を洗い出すことが考えられる。このため、自走までに2年程度かかり、その間は区役所が関わって、町内会自治会と一緒に検討することが必要だと考えられる。

○自走までの考えられるフローを、下記の項に示す。

(2) 自走までの考えられるフロー

※自走するまでを2年を目安に考える。

ステップ		内容
1 年 目	1. 課題を出し合う	○対象地区となった町内会自治会、普段感じている地域の課題や地域の活性化のために活かせるような地域資源を出し合う。
	2. 実際に現地に行 って、地域課題を 確認する	○ステップ1で出された課題のうち、いくつかに絞り込んで実際に現場を確認する。
	3. 解決策を考える	○出された地域課題を踏まえて、その解決策やまちのあり方を考える。
	4. さいわい縁むす 日開催	○解決策に沿ったさいわい縁むす日及び強化月間の開催
	5. 振り返り	○地域課題は解決されたか、できなかったことは何かなどを検証し、課題を抽出する。

ステップ		内容
2 年 目	1. 解決策の検討	○1年目で出された課題を踏まえて解決策を検討する。
	2. 具体的な取組内容の検討と、連携する団体などと調整	○連携する団体を見つける。 ○企画の内容を検討し、連携する団体などと役割分担を行う。
	3. さいわい縁むす日開催	○解決策に沿ったさいわい縁むす日及び強化月間の開催
	4. 振り返り	○地域課題は解決されたか、できなかったことは何かなどを検証し、課題を抽出する。 ○合わせて、自走の体制や方法について検討を行う。

(3) 実施にあたって弱い部分の解決

○実施にあたって弱い部分については、テーマ型コミュニティ（市民活動団体）とコラボして解決すること考えられる。

○テーマ型コミュニティの市民活動団体は、活動の場を求めているので、コラボすることによりwin×winの関係になり、長い付き合いになる可能性が考えられる。

<ミレナリータワーズ自治会の場合>

○ミレナリータワーズでは、令和4年度についてはほとんど当自治会で実施したが、令和5年度については、隣接した地域の自治会や近隣商店街などと連携して実施した。これによって、令和5年度の方が企画内容が充実していたという評価であり、さらに自治会の負担が令和4年度と比べて減ったという意見もあった。

○一方で商店街から出店した店舗は、販売に注力できてよかったという意見があがった。塚越銀座商店街では、過去に夜店のイベントが開催されていたが、出店以外にもイベントの運営にも関わらないといけなため、負担が大きく大変だったということであった。

○このようなことから、団体同士の連携のポイントとして、お互いのできない部分、負担が大きい部分を補完できる関係性をつくることが挙げられる。

3. 行政の関わりについて

○地域コミュニティづくりにあたっては、地元が主体になって行うことが前提であるが、地域コミュニティの希薄化が社会問題とされるなか、行政の役割も重要だと考える。このようなことから、令和4年～5年度の「さいわい縁むす日」を踏まえると、次のような支援が必要であると考えられる。（支援の内容は、委託するまちづくりコンサルタントと連携して行うことも含まれる。）

■地域課題の抽出

○地域課題は、顕在化している課題、潜在化している課題、地域住民が共有している課題、あまり共有されていない課題などさまざまである。地域課題を解決するためには、地域課題を顕在化して、地域住民で共有することが求められる。このため、地域住民から地域の課題と思われるものを聞き出し、整理することが必要である。

○地域課題の抽出については、専門家としての立場で関わるまちづくりコンサルタント等と連携して行うことが必要である。

■事例等紹介・専門的な情報提供

○対象となった地域が、「さいわい縁むす日」の具体的な内容や運営方法などを検討しやすいように、他都市で行われた地域コミュニティづくりの取組事例などを紹介することや、その他必要な専門的な情報を提供する。

○提供にあたっては、専門家としての立場で関わるまちづくりコンサルタント等と連携して行うことが必要である。

■テーマ型市民活動団体等の紹介

○市民活動団体等を紹介する。紹介にあたっては、単に紹介するのではなく、対象となった自治会町内会の地域課題と照らし合わせて、適した団体を紹介する。

○このため、普段から区民活動支援コーナー登録団体や、幸区 SDC に関わる団体などの活動内容などを把握しておく必要がある。

○紹介にあたっては、専門家としての立場で関わるまちづくりコンサルタント等と連携して検討することが必要である。

■広報支援

- 区役所の情報発信力は、さまざまな団体とのネットワークがあるため強いと考えられる。このため、情報発信については、区役所からの支援が重要であると考えられる。
- 「さいわい縁むす日」が地域の自走段階になると、市政だより区版などの公的な広報紙に掲載することが難しいと思われるが、タウンニュースなどの地域誌への記事の投げ込みなどの支援を行うことが必要であると考えられる。

■各種行政手続き支援

- イベントなどを開催する場合は各種行政手続きが必要になるが、企画内容によって手続する部署が変わる。このため、どのような部署への手続きが必要なのか、また必要書類としてどのようなものが必要かを説明する必要がある。

1. 町内会連合会説明資料

令和5年5月 幸区地域振興課

さいわい縁むす日について



事業の説明と希望する町内会・自治会の募集

さいわい縁むす日ロゴマーク

■地域コミュニティの希薄化を解決するためのきっかけづくりとして

「人と人とのつながり」は防災・防犯をはじめ、子育てや高齢者の見守り、地域の清掃など区民の暮らしの基盤だと考えています。一方で、町内会・自治会の加入率は減少傾向にあり、特に若い世代における地域への関心や人間関係の希薄化が進行し、地域力の低下が課題になっています。また、長年区と共に市民活動の活性化に寄与してきた市民活動団体においても、担い手が固定化・減少しており、活動の活性化が課題となっています。

そこで幸区では、私たちが日ごろ生活している地域において人と人とのつながりをつくるため、地域への関心や関わりが薄い層に対して地域活動に参加しやすいきっかけを創出することを目的に「さいわい縁むす日」事業を令和4年度から本格実施しています。

企画内容は、一緒にこの事業を進めていただく町内会・自治会における地域課題の解決に資するもので、「人と人とのつながり」を創出するきっかけとなるものとします。具体例としては、マルシェ、ガレーセール、美化活動、防災イベント、発表会、文化祭、飲食イベント、交流会、サロン、スポーツイベント等が挙げられます。

■昨年度の様子

予想以上の来場者があり、地域コミュニティづくりの場になりました

■地元が主体となって開催

昨年度は、塚越ミレナリータワーズ自治会の「マンション居住者間の顔の見える関係性が希薄である。活動の担い手が固定化している」といった課題解決に向け、令和5年3月12日にお祭りイベントを開催しました。内容としては、駄菓子、フランクフルト・餃子、川崎産新鮮野菜直売などの販売ブースで居住者を誘い、モルックやボードゲームコーナーなどの交流ブースで住民同士の交流を図りました。当日は、予想以上の来場者があり、大盛況となりました。



■地域コミュニティづくりの種を発見できました！

来場者にアンケートを行ったところ、多くの人から「今後も続けてほしい」という声があり、7割近くの方から「機会があれば活動のお手伝いがしたい・運営に参加したい」という声がありました。この取組が地域コミュニティづくりのきっかけになることがわかりました。



■「さいわい縁むす日」の進め方について

(1) 令和5年度の流れの例

○令和5年度については、次のようなスケジュールで考えています。ただし、これは地元のみなさんが主体になって行うものなので、地元のスケジュール優先で行います。

①さいわい縁むす日の対象地区を決めます (6月ごろ)	・さいわい縁むす日を実施する地区は、町内会・自治会単位とし、1地区とします。複数の町内会・自治会から応募があった際には、申込書の内容やヒアリング内容を精査し、得られる効果や継続可能性、他の地区・団体への展開可否等を総合的に検討し、対象地区を決定します。 ・さいわい縁むす日の実施を希望する町内会自治会は、別添の希望申請書に必要事項を明記の上、6/30(金)までに幸区役所地域振興課までご提出ください。
②地区のまちの課題をみつめます (7月～9月)	・決まった地区について、地元のみなさんと話し合い、その地区が抱える地域課題について出し合います。 ・さいわい縁むす日は、その解決につながるような取組になりますので、どのようなことを取組めば良いのかを地元のみなさんと一緒に考えます。
③さいわい縁むす日の開催 (10月～12月)	・②で検討した課題をさいわい縁むす日として取り組みます。 ・さいわい縁むす日とありますが、1日で終わってしまうものではなく、継続的に取り組めるものが望ましいと考えています。
④結果報告 (1～3月ごろ)	・他の地区でも、展開できるように記録を作成し、区のホームページ等に掲載します。(記録作成やホームページ掲載は、まちづくりコンサルタントや区役所で行う。)

(2) 区役所側の支援体制について

○当事業にあたっては、幸区役所とまちづくりコンサルタントが御支援します。具体的には、地元での打合せや会議に出席し、地域活動がスムーズに進むように、これまでのノウハウや知見、情報などを活かして御支援します。

○イベント実施等の費用は、町内会・自治会で負担していただきます。

<さいわい縁むす日とは>

フランスのパリで1999年に始まった「隣人祭」に由来する。隣人祭とは、独居高齢者の孤独死に心を痛めたとある青年が、年に1度、ご近所同士で食べ物や飲み物を持ち寄って、パーティを開き交流を深めたことから始まった活動である。また、渋谷区では、欧米の取組を参考に6月の第一日曜を「渋谷おとなりサンデー」とし、渋谷区に住む人・働く人・遊びに来る人、渋谷区にかかわる人みんな含めて「おとなりさん」として、地域に目を向けるきっかけを作っている。さいわい縁むす日は、これらを参考に取組を始めたもの。



行政	：幸区役所地域振興課 担当 穴澤・五嶋 電話 044-556-6609
まちづくりコンサルタント	：株式会社 社会空間研究所

2. 打ち合わせ記録

(1) 打ち合わせ経過

回/時期	内容
第1回 9月19日	1. 令和5年度の「さいわい縁むす日」について 2. 令和5年度の「さいわい縁むす日」の内容について 3. 意見交換
第2回 10月13日	1. 前回打ち合わせの振り返り 2. 自治会会合で話し合われた内容について 3. 令和6年度の内容について 4. その他
第3回 11月1日	1. 前回の振り返り 2. 今年度のさいわい縁むす日の内容について 3. さいわい縁むす日強化月間について 4. スケジュールの確認
第4回 11月29日	1. 前回の振り返り 2. 各地元の調整報告 3. さいわい縁むす日の企画と運営について 4. 強化月間について 5. 検討実施体制の構築に関わる提案
第5回 12月21日	1. 前回のおさらい 2. さいわい縁むす日当日について 3. さいわい縁むす日強化月間及びチラシについて 4. スケジュール
第6回 1月18日	1. 前回のおさらい 2. 当日のプログラムの進捗状況 3. PRチラシについて 4. お手伝いスタッフの募集について 5. スケジュール
第7回 2月9日	1. 前回の振り返り 2. さいわい縁むす日当日の進捗状況について 3. チラシ及び強化月間（ナゾ解き）について 4. お手伝いスタッフ募集について
第8回 3月1日	1. 前回の振り返り 2. 当日の確認 3. アンケート等調査について
第9回 3月15日	1. 令和5年度「さいわい縁むす日」振り返り

(2) 各回の打ち合わせの記録

第1回打ち合わせ記録

日時：令和5年9月19日（火）19時～20時30分／会場：塚越ミレナリータワーズ内コミュニティスペース

出席：（自治会）3名、（地域振興課）3名、（コンサルタント）1名

1. 令和5年度さいわい縁むす日について

※資料を踏まえて、令和5年度のさいわい縁むす日のあり方について、意見交換を行った。出された主な意見は、下記のとおり。

■開催時期について

- ・時期は3月中旬を考えている。他にもいろいろイベントがあって、3月でないとできないと考えている。具体的には3月9日（土）か16日（土）だと思っている。

■周辺自治会と連携することは賛成である

- ・まだ個人的な意見であるが、今年度についてはこかげ公園だけで開催するのももったいないと思っている。周辺の自治会でも開催してほしい。周辺の塚越4丁目、2丁目なども開催できると良い。周辺の自治会も巻き込んで開催したい。
- ・昨年度のさいわい縁むす日では、1日でいろいろな企画をやってしまった。これを1か所で行うのではなく、周辺自治会で分散して行うことが良いと思う。たとえば、昨年度やってモルックなどのゲームを別会場で開催するなどが考えられる。
- ・ミレナリータワーズ自治会が昨年度にさいわい縁むす日を開催したことについて、他の自治会からも注目されたようである。今年度いくつかの自治会から、募集に手を挙げようか相談が区役所の方にあった。このようなことから、周辺の自治会と連携して行うことは効果的だと考えられる。（区役所）
- ・塚越1丁目から4丁目の自治会とは、年に1回役員による懇親会があることから、つながりがある。声をかけることは可能だと思う。

■周辺自治会との連携と担い手を増やすことはどちらが重視されるか

- ・コンサルタントの説明では、今年年度の目標を周辺地域と連携して広げることと、担い手を増やすことの両方を言っているが、どちらがメインになるのか。
- ・両方だと思っている。一方でミレナリー自治会としては、担い手を増やすためにさいわい縁むす日を行うことについてはインセンティブがあると思うが、周辺の自治会と連携することにインセンティブはあるのか。（コンサルタント）
- ・おっしゃるとおりの部分もあるが、周辺自治会との和が広がることは良いことだと思うので、インセンティブはあると思う。

■市政100周年と絡めることも考えられる

- ・来年は川崎市の100周年と合わせて緑化フェアを開催するが、その担当部署から子どもが参加する企画をさいわい縁むす日のなかでやりたいと言われている。具体的には子ども向けのクラフト教室ということである。このようなところと連携することが考えられるが、どうか。（区役所）
- ・市政100周年企画を取組むことも良いと思う。

■お手伝いしたい人は多いようだが、巻き込み方が課題

- ・ミレナリータワーズ自治会の中で、昨年度の反省で何か出されているか。（区役所）
- ・メインに関わるスタッフが、限られてしまったことが大変だったという声があった。当日は持ち場から離れられないスタッフが多く、他の企画がみたかったという声も上がった。もっとスタッフで関わる人を増やす必要がある。
- ・アンケート結果にもあるように手伝いたい人は多いようだが、どう巻き込んでいくかが課題だと思う。
- ・お願いしたい内容を具体的に示せば、参加しやすいのではないか。
- ・巻き込み方を考える必要がある。

■さいわい縁むす日の内容について

- ・今年度のさいわい縁むす日の内容は、おおむね昨年度と同じ内容でやりたい。そのなかで、担い手になる人を増やすことや、周辺自治会との連携を図ることを考えたいと思う。
- ・昨年度ははじめてだったので開催することだけで大変だった。今年度は昨年度の内容を踏まえてパッケージ化できていると思っている。このため、担い手を増やすことや周辺自治会と連携することに注力することはできると思う。

■今年度の目標

- ・今年度の目標をどこに設定するかをはっきりしないと、ブレでしまい中途半端になってしまうと思う。例えば、●箇所の自治会と連携するとか、担い手になる人を●人増やすとか目標があると良い。
- ・区役所としては、昨年度のアンケートでもあったように、お手伝いしたいという人が思った以上に多くいることがわかったのだが、そのような人をいかに多く関わってもらうかが大事だと思っている。そのノウハウも含めて実行できると、他の地域にも伝えられる。そのうえで、周辺自治会とも連携できると良い。その手法をつくることができれば、あとはわかりやすくまとめて、幸区全域に発信する。これは区役所の役割りである。（区役所）
- ・このためにも早めに内容を決めて、ミレナリー内や周辺自治会に広げたい。そうすればおのずと参加する人が増えることや連携する自治会が出てくると思う。
- ・周辺自治会との連携と言っているが、あくまでも主役はミレナリータワーズ自治会である。（区役所）

■事務的手続きについて

- ・昨年度の事務的手続きについては区役所の方でやってもらったが、今年度は自治会でやってほしいということであった。今後は自治会で自走してほしいということか。
- ・そのとおりであるが、もちろん区役所の方でも必要な支援は行う。（区役所）

2. 今後について

- ・本日の内容については、自治会（文化部）のみなさんから意見を出してもらわないと進められない。このため、今月の自治会（文化部）の集まりで本日の内容を説明し、意見をもらう。
- ・周辺の自治会と会う機会が近い時期にあるので、相談し考えを聴いてみる。（ミレ自治会会長）
- ・次回の打ち合わせは、10月13日（金）19時～行う。

第2回打ち合わせ記録

日時：令和5年10月13日（金）19時30分～21時15分／会場：塚越ミレナリータワーズ内ラウンジ
出席：（塚越ミレナリータワーズ自治会）3名、（塚越2丁目町内会）3名、（地域振興課）3名、
（コンサルタント）1名

1. 自己紹介と前回の振り返り

※第1回打ち合わせ記録を確認した。

2. 「さいわい縁むす日」の説明

※塚越2丁目町内会からの出席がはじめてだったので、コンサルタントから「さいわい縁むす日」事業内容や昨年度の内容の説明を行った。

3. 令和5年度のさいわい縁むす日について

（1）塚越ミレナリー自治会からの報告

- ・先日、自治会の会合が開催され、そこで今年度のさいわい縁むす日の開催について説明した。出席者からは特に反対意見はなく、開催する方向で決まった。（ミレ自治会）

(2) 周辺町内会について

- ・塚越2丁目町内会としてはミレ自治会会長から説明をいただき、趣旨を理解し賛同している。ただし、何をすればよいかわからないことやできることも限りがあるので、本日の打ち合わせでお話を聞いたうえで参加・協力の是非を検討したい。(塚越2丁目町内会)

(3) イベントのパッケージ化について

- ・イベントのパッケージ化とは何か。(塚越2丁目町内会)
 - ・イベントのパッケージ化の必要性の理由は、昨年度のさいわい縁むす日は、はじめて開催することもあり具体的にどのように取組んだら良いかわからなかったことから、各プログラムは担当になった人に任された状態であった。このため、各町内会・自治会内で誰でも運営できるようにするために、マニュアル化したいと思っている。これをイベントのパッケージ化と呼んでいる。また、パッケージ化することにより、役割が明確になることから、お手伝いしてくれる人が増えることを期待している。
 - ・ミレナリー自治会と比較して、塚越2丁目町内会役員には高齢者が多く、各種手続きやPCを使う作業等、ミレナリー自治会と同じレベルでの作業には不安がある。
 - ・塚越2丁目町内会としても、イベントのパッケージ化を早めにつくってもらえると助かる。
 - ・まずは、今年度のさいわい縁むす日で何をやるかを決める必要がある。
- ⇒何のプログラムを行うか案を出し合って実施するプログラムを決めつつ、パッケージ化を進めることが確認された。
- ⇒プログラムの検討にあたっては、昨年度内容をベースにして考えることが確認された。

(4) 担い手を増やすことについて

- ・担い手を増やすことについては、さいわい縁むす日の具体的な内容が決まらないと呼びかけられないと思う。このため、まずは具体的な内容を検討するべきだと思う。
 - ・塚越2丁目町内会としても具体的な内容が決まった方が、自治会内に説明しやすい。
- ⇒担い手を増やすことや塚越2丁目町内会との連携のためにも、具体的な企画を早めに決める必要があることが確認された。

(5) 実施プログラムについて

〈会場について〉

- ・昨年実施の塚越こかげ公園に加え、塚越第4公園も会場としたい。警備については検討が必要(昨年は民生委員に協力してもらった)。

〈内容について出た意見〉

- ・商店街の店舗にも出店してもらいたい(バハマール、ぷるんぷりん、くもい、のいち他)。
- 飲食店スタンプラリー・お店マップのようなものがやれるとよい。
- ・謎解きをやりたい(準備の手間はあるが、当日人員が少なくて済む。学生さんにクイズを考えてもらうのを協力してもらうことで、それだけでも担い手の増加になると思う)
 - ・フリーマーケットをやりたい
 - ・建設緑政局の自然体験プログラムについては、内容については賛成。次回場所等要調整。

4. 第4回打ち合わせの検討内容について

(1) 検討内容について

- ・次回の打ち合わせでは、今年度のさいわい縁むす日の具体的な内容を検討する。
- ・検討にあたっては、昨年度の内容をベースとして、追加する内容ややめる内容を考える。
- ・具体的な内容が決まったら、どの部分を塚越2丁目町内会が担うかを考える。

(2) 第4回打ち合わせの日程について

- ・第4回打ち合わせは、11月1日(水)19時～行う。(翌日2日が塚越2丁目町内会の役員会であるため、1日の打ち合わせで決まった内容を報告してもらう)

第3回打ち合わせ記録

日時：令和5年11月1日(水)19時～20時30分／会場：塚越ミレナリータワーズ内ラウンジ

出席：(塚越ミレナリータワーズ)5名、(塚越2丁目町内会)3名、(塚越銀座商店街)1名、(区役所)3名、(コンサルタント)1名

1. 前回の振り返り

- ・第2回打ち合わせの内容を振り返った。

2. 今年度のさいわい縁むす日の内容について

(1) 日程と会場について

- ・今日の資料では、塚越沼ノ上公園と、塚越第4公園、それと塚越銀座商店街で開催することが提案されているが、メイン会場がこかげ公園となると、道路の横断の問題がある。警察にも相談したが、警備などをしっかりつけてほしいと言われている。
- ・塚越銀座商店街で開催するのであれば、周辺のお店や住民から許可を得ることが必要がある。特にお店は搬入のための車を停めたりするので、了解を得る必要がある。
- ・塚越銀座商店街としては、協力できそうな店舗数は片手で数えられるくらいだと思われる。塚越銀座フェス以降、出店できるようなお店が減っている。(商店街)
- ・開催日については、土曜日の日中は営業している店舗が多いので協力できるところが少ない可能性がある。また、搬入のための車の出入りも多いので、その妨げにならないような方法が必要になる。(商店街)
- ・こかげ公園で土曜日に開催するとしたら、バハマールさんは出店可能か。
- 商品をこかげ公園に運んで、別の人が販売するのであれば可能である。(商店街)
- ・バス通りの横断は、危険性がある。特に横断歩道ではないところを横断する人が多くなることが予想される。横断歩道を渡るように誘導しないといけないし、そのための警備員の配置が必要である。
- ・さいわい縁むす日にあたっては、地域での持続可能な方法が必要である。区役所としては2ヶ年に渡ってミレナリータワーズを支援しているが、支援は今年度限りになるので、次年度以降は自走でできるようにお願いしたい。このためコンパクトに行うことも重要であると思われる。(区役所)
- ・2か所の公園での同時開催は、人力的に難しいのではないか。
- ・日程は、3月16日(土)か17日(日)でどうか。
- 区役所では、3月16日(土)か17日(日)は区内で別のイベントがあり、区役所の備品類の貸与が難しくなる。(区役所)
- ・塚越銀座商店街のお店は、どのくらい協力してくれそうか。
- 商店街の方に伝えていないのでまだわからない。ただ、どのくらいの量を用意しないといけないかを伝えないと頼めないと思うが、当日にどのくらいの人数がくるのかが想定できない。今回は2回目の開催なので、前回より多くの人が来ると思う。(商店街)
- 用意する量については可能な範囲で準備していただき、売り切れたら終わりで良いと思う。(ミレ自治会)
- ・塚越2丁目町内会にあたっては、さいわい縁むす日に参加するインセンティブを感じるか。(区役所)
- 塚越2丁目はミレナリータワーズと違い戸建てが中心なので、住民の考え方がいろいろである。このため、ミレナリータワーズのようにまとまって大きなイベントを開催することが難しい。(塚越2丁目町内会)
- ・今回のさいわい縁むす日は、ミレナリータワーズと塚越2丁目を対象とすることで良いか。(区役所)
- ミレナリータワーズと塚越2丁目を対象になると思う。しかし、他の地区の人もあると思う。(ミレ自治会)

- ・昨年度は初めてだったこともありあまりミレナリータワーズ住民以外に広報しなかったが、今回は広く広報活動を行う予定なのでたくさんの来場者が予想される。自転車で来られる人も多いと思うので、駐輪スペースが必要だと思う。

- ・駐輪スペースとして、塚越第4公園を使えないか。

⇒さいわい縁むす日は、3月10日（日）とする。前日の9日（土）は事前準備とすることが確認された。

⇒バス通りの横断での危険性等の懸念事項を踏まえて、会場についてはこかげ公園とミレナリータワーズエントランス部分とすることが確認された。

⇒今回は来場者数が多いことが予想されるので、塚越第4公園を駐輪スペースとして使えるように調整することが確認された。（駐輪場にもスタッフが必要）

（2）企画の内容について

- ・昨年度のさいわい縁むす日の来場者からは、飲食できるスペースが少ないという意見が多く出されていた。今回の資料の中に立ち飲みスペースを提案していて、交流のための環境づくりにつながると思うがいかがか。（コンサルタント）

→立ち飲みのテーブルは良いと思う。しかし、立ち飲みのテーブルはどのように準備するか。

→近隣の酒屋さんなどからビールケースを借りてつくることも考えらる。（コンサルタント）

- ・食品衛生に関する基準や決まり事を教えてほしい。

→後日に保健所に確認し、報告する。（区役所）

- ・不特定多数の人が参加するイベントなどでどのように人員を整理するか、事例などを探してほしい。特にバス通りの横断部分が気になる。

→次回までに探して報告する。（コンサルタント）

3. さいわい縁むす日強化月間について

- ・さいわい縁むす日当日はこかげ公園とミレナリータワーズエントランスが中心になるので、さいわい縁むす日強化月間については塚越2丁目地区や塚越銀座商店街の方で行えると良いと思う。そうすると地域活性化につながると思う。

- ・今回のさいわい縁むす日で期待する成果については、ミレナリータワーズの住民は若い世代が多いので、さいわい縁むす日の開催を通じて担い手を増やす。一方で、塚越2丁目地区や塚越銀座商店街は、商業が多いことや比較的高齢の住民が多いので、さいわい縁むす日強化月間を通じて地域の活性化を目指すことが考えられる。

- ・強化月間の内容については、塚越2丁目町内会や塚越銀座商店街に負担が出ないようにゆるくできて、地域の回遊につながる企画が良いと思う。アイデアとしては、強化月間中にさいわい縁むす日ののぼり旗を飾る、お店を周るスタンプラリーを行うなどがある。（次回の打ち合わせで強化月間中の具体的な企画を考えることになった）

⇒さいわい縁むす日強化月間については、塚越2丁目地区や塚越銀座商店街を中心に行うことが確認された。企画については、塚越2丁目地区や塚越銀座商店街を回遊できるようなものとする方向で考えることが確認された。

4. スケジュールの確認

⇒今後のスケジュールを確認した。

⇒次回の打ち合わせは、11月29日（水）に行う。

以上

第4回打ち合わせ記録

日時：令和5年11月29日（水）19時～20時30分／会場：塚越ミレナリータワーズ内ラウンジ

出席：（塚越ミレナリータワーズ）5名、（塚越2丁目町内会）3名、（塚越銀座商店街）2名、（区役所）3名、（コンサルタント）1名

1. 前回の振り返り

- ・前回の打ち合わせ内容を確認した。

2. 各地元の調整報告

■塚越2丁目町内会

- ・今回は塚越2丁目町内会は、お手伝いの立場で参加したいと思っている。
- ・塚越2丁目町内会の若い世代の人については、土日両日出られる人は少なそうである。
- ・塚越第4公園を駐輪スペースとして活用することは可能か。（コンサルタント）
- ・塚越第4公園を駐輪スペースとして活用することは可能である。すでに関係機関と調整している。（塚越2丁目町内会）

■塚越銀座商店街

- ・これまでに出店の意向を確認した。こうしょうさんは難しい。ひたきさんは参加意向あり、くろっくさんはオーナーに確認すること、八尾美さんは参加意向であった。

■ミレナリー自治会

※配布資料のとおり。

3. さいわい縁むす日の企画と運営について

（1）企画について

- ・謎解きについては、幸市民館に来ている中高生ボランティアと一緒にできるがどうか。（区役所）
- ・ぜひ中高生ボランティアと一緒に考えたいと思う（ミレ自治会）。

⇒謎解きについては、中高生ボランティアに手伝ってもらう方向で考える。中高生との検討スケジュールは、後日に調整する。

- ・出店については、商店街の方を優先に出してもらいたいと思っている。商店街の方で十分であれば、ミレナリー自治会からは出さなくても良いと思う。
- ・野菜の直売と駄菓子屋は、昨年度好評だったので今年もやりたいと思っている。

⇒野菜の直売と駄菓子屋は、出店する。

- ・ゲーム・体験コーナーの提案であるが、私が以前に住んでいた地域のイベントで、子ども向けの空手体験をやったのだが、好評だった。近くに空手道場があるので協力がもらえると良い。知り合いで近隣の空手道場の生徒がいるので、聴いてもらうことは可能だと思う。

⇒空手道場に空手体験ができないか確認する。

- ・知り合いにピエロをやってくれる人がいて、バルーンアートもでき子どもから人気がある。その人に声をかけることができるかどうか。

⇒ピエロについてはお願いする。

※その他決まった内容は下記のとおり。

⇒出店のテントの位置については、ミレ自治会の会合の中で決める。合わせて区役所では、区役所所有のテントの数を確認する。

⇒ボードゲームは市民館にお願いする。自転車シュミレーターとモルックはなしで良い。

⇒自然体験プログラムについては、まずは市役所担当部署から資料をもらう。

（２）運営について

①駐輪スペースについて

- ・第４公園を駐輪スペースにすることで検討されているが、自転車を何台置けるのか、またあふれた場合、次をどこを駐輪スペースとするか。

- ・第４公園に停められる台数は、次回の打ち合わせまでに確認する。（コンサルタント）

⇒自転車があふれた場合は、ミレナリーの敷地に駐輪するように案内する。

⇒第４公園の前の道路は、通行止めとする。（手続き及び道路に面した住宅へのお知らせは、２丁目町内会が行う）

②トイレについて

- ・来場者のトイレはどうするか。

- ・特に用意することはないと思う。盆踊りでも用意していない。

③警備について

※コンサルタントから警備に関わる考え方を紹介した。

- ・駐輪スペースには、コーンとコーンバーで仕切りをつくれば、自転車をそれに沿って並べるのではないか。

⇒自転車が整理して並ぶように、駐輪スペースにコーンとコーンバーを設置することを考える。コーンとコーンバー区役所にどのくらいあるか確認する。

⇒コンサルタントが作成した警備に関わる考え方を踏まえて、ミレナリー自治会で人員配置を検討する。

⇒警備を行う人については、ひとりに負担がかからないようにする配慮する。

④広報について

※広報について確認された内容は下記のとおり。

⇒さいわい縁むす日のPRチラシを作成する。チラシはスタンプラリーのシートを兼ねるものとする。

⇒ミレナリータワーズでは各戸配布を行う。塚越２丁目では、回覧板で回すこととする。塚越銀座商店街では、スタンプラリーに参加する店舗に配架してもらう。

⇒区役所やこ文、いこいの家などの公共施設には置かない。

⇒タウンニュースに事前PRのための記事は載せてもらわないこととする。事後報告として、タウンニュースに取材してもらい記事を書いてもらうようにお願いする。

⇒チラシの枚数は２０００枚程度とする。

⇒チラシの内容についてはミレナリー自治会で検討したうえで、コンサルタントに伝えてデザインを行う。

⑤人員募集について

- ・スタッフの人員募集のために、PRチラシとは別に人員募集のチラシを作成し、配布したらどうか。（コンサルタント）

- ・スタッフの人員募集については、チラシでの無作為募集は難しいと考えている。原則一本釣りで行いたいと考えている。（ミレ自治会）

- ・昨年のアンケートでは、７割くらいの人が、声をかけられたらお手伝いしても良いという回答だった。このため、広く募集した方が良いと思う。（コンサルタント）

- ・コンサルタントの提案のように、スタッフの顔合わせ会（説明会）は開催したいと思う。コンサルタントの資料にスタッフ募集チラシの内容があるが、これは説明会の資料の内容になると思う。（ミレ自治会）

- ・お手伝いしたいという人のお名前と連絡先がわかると良い。今回もアンケートを行うと思うが、お手伝いしたいと答えた方には連絡先を聞いてもらえると良い。（ミレ自治会）

⇒スタッフについては、原則一本釣りで行う。これ以外でも募集できるように、募集チラシをミレナリー内に掲示することを考える。

４．さいわい縁むす日強化月間について

- ・強化月間のスタンプラリーについては、事例として市バスの方でスマートフォンのアプリを使って行っていると聞く。このアプリを利用できないか。
- ・子どもはスマートフォンを持たないので、アプリを活用したスタンプラリーは難しいと思う。
- ・「子育てフェアさいわい」で、電子スタンプラリーをやっていた。担当の地域ケア推進課に確認する。（区役所）
- ・来年は緑化フェアなので、その宣伝のためのプランターに花を植えてミレナリータワーズの周りに置けたらどうか。

5. 検討体制について

- ・検討体制の提案があるが、昨年度も体制つくって行った。今年度も体制つくって役割分担し、検討を進める。

6. 次回

- ・次回は12月21日（木）19時～行う。
- ・回の内容は、主に下記のようなもの。

①出店内容と場所の確定

②警備の体制（警備の配置と人数）

③広報チラシについて

など

第5回打ち合わせ記録

日時：令和5年12月21日（木）19時～21時／会場：塚越ミレナリータワーズ内ラウンジ

出席：（ミレナリータワーズ自治会）4名、（区役所地域振興課）2名、（建設緑政局）1名、
（コンサルタント）1名

1. 前回の振り返り

※第4回打ち合わせ記録の確認。

2. さいわい縁むす日当日の企画及び運営について

（1）当日の企画について

①自然体験プログラムについて

※建設緑政局みどり・多摩川協働推進課から、自然体験プログラムについて説明があった（複数のプログラムが説明された）。

⇒自然体験プログラムについては、「まきわり」と「焼きマシュマロ」を行うことが確認された。ほかのプログラムについては、ミレナリータワーズ自治会内で検討し、後日に連絡することになった。

⇒「まきわり」と「焼きマシュマロ」については、ミレナリータワーズエントランスで開催することが確認された。

⇒「焼きマシュマロ」は実費相当が必要になるが、これはミレナリータワーズ自治会で対応することが確認された。

※次回の打ち合わせでは、実施団体のNOTSの人も同席する。（建設緑政局）

②出店について

※ミレ自治会担当より、12月21日の出店状況の説明があった。合わせてお店の配置についても確認した。（ミレ自治会担当作成資料通り）

⇒野菜直売は実施することで確認された。

・カクヤスが参加しないということは、飲み物がなくなってしまうということか。（ミレ自治会）

→飲み物については、クロックさんが出店されるので大丈夫だと思っている。（ミレ自治会担当）

→飲み物を切らさないように、量をクロックさんに確認する必要があると思う。少ない場合は、我々が出すことを含めて再検討する必要がある。（ミレ自治会）

③紙芝居ワークショップについて

※ミレ自治会担当より、紙芝居ワークショップについて説明があった。

- ・自然体験プログラムと競合するのであれば、紙芝居ワークショップをどうするか検討する必要がある。（ミレ自治会）

- ・これはお金を取るのか。（ミレ自治会）

⇒紙芝居を観た人から、任意の投げ銭となる。（ミレ自治会）

- ・任意の投げ銭の行為が、このイベントにふさわしいのか疑問をもつ。払わないといけない雰囲気になると、ふさわしくないように思える。（ミレ自治会）

⇒紙芝居ワークショップについては、見送ることが確認された。

④警備について

※ミレ自治会担当から、当日の警備人員の配置案を説明した。

⇒提案の警備人員の配置案をベースにして、引き続き検討することが確認された。

⑤役割り分担の確認

※ミレ自治会担当から、役割り案を説明した。

⇒提案の役割り分担をベースにして、引き続き検討することが確認された。

- ・前は同じ人が同じ役割を終日行っていた。他のもみたいという声もあったので、時間配分をしっかりと検討する必要がある。（ミレ自治会）

（２）お手伝いスタッフについて

- ・前回の打ち合わせでは、お手伝いスタッフについては一本釣りで集めるということであったが、前回のアンケートでは声がかかれば手伝いたいという人が7割近くいたので、公募という形も取った方が良さと思う。そのために資料に提案しているチラシもしくはポスター、デジタルサイネージ等でPRしたらいかか。（コンサルタント）

⇒お手伝いスタッフ募集チラシの内容については、ミレナリータワーズ自治会で検討・作成する。必要に応じてコンサルタントがデザイン等を行う。

⇒お手伝いスタッフ募集については、デジタルサイネージと全戸配布チラシで行う。印刷は区役所のリソグラフで対応する（モノクロ印刷）。

⇒お手伝いスタッフ募集チラシは、PRチラシと一緒に配布する。（2月1日～）

- ・顔合わせ会はどうするか。

⇒顔合わせ会については、自治会のスケジュールもあるので次回までに調整する。

（３）自転車の配置について

※コンサルタントより、塚越第4公園での自転車は配置方法と最大の台数について提案した。

⇒自転車の配置は、提案のものをベースにして考えることが確認された。

⇒コーンとコーンバーについては、地域振興課が持っているものと、ミレナリータワーズが持っているものを使うことが確認された。場合によっては、ミレナリータワーズ自治会で購入する。

3. PR チラシについて

（１）スケジュールについて

- ・1月24日（火）に入稿、1月31日（火）までにミレナリータワーズ自治会へ納品、2月1日（水）～配布となる。（コンサルタント）

⇒上記のような印刷～配布までのスケジュールについて確認した。

（２）チラシの配布について

- ・ミレナリータワーズは全戸配布だが、塚越2丁目については回覧され、欲しい人は参加するお店に取りに行くとされている。それでよいか。（コンサルタント）
- 塚越2丁目の回覧板のスケジュールがどうなっているか確認する。（ミレ自治会）
- 塚越2丁目での配布方法については、塚越2丁目町内会会長に相談してみる。（区役所）

（3）チラシの内容について

- ・PR チラシの表面のイメージをどうするか。コンサルタントの方で先行して案を作成することも可能であるがどうするか。（コンサルタント）
- ・表面については、昨年度に開催した「さいわい縁むす日」なので、同じようなレイアウトが良いのではないか。（ミレ自治会）
- ⇒コンサルタントの方で先行して案を作成し、次回の打ち合わせで示す。

4. さいわい強化月間について

- ・謎解きの景品をどうするか。（コンサルタント）
- ・区役所にある過去のノベルティを提供することはできる。ただし、いろいろな種類になる。（区役所）
- ⇒まずは区役所にある過去のノベルティを充てている。足りない場合は、ミレナリータワーズ自治会で駄菓子を準備することが確認された。
- ・謎解きは、さいわい縁むす日当日もできるようにするか。（コンサルタント）
- ⇒当日もできるようにすることが確認された。

5. その他

- ・次回の打ち合わせは、1月18日（木）に行う。

第6回打ち合わせ記録

日時：令和6年1月19日（木）19時～20時30分／会場：塚越ミレナリータワーズ内ラウンジ

出席：（ミレ自治会）4名、（地域振興課）4名、（建設緑政局）1名、（NPO 法人国際自然大学校）1名、（コンサルタント）1名

1. 前回の振り返り

- ・前回の打ち合わせ記録を確認した。

2. 企画の進捗状況について

（1）自然体験プログラムについて

- ・自然体験プログラムについては、改めて焼きマシュマロと薪割りを行うことが確認された。
- ・マシュマロの実費分はミレ自治会で負担することになっていたが、準備することはだれが行うか。（ミレ自治会）
- ⇒NOTSの方で準備し、ミレ自治会に請求することが確認された。
- ・昨年度のさいわい縁むす日の来場者数を考えると、焚火台が複数必要だと思う。マシュマロの数量をどのくらいにするか。（NOTS）
- ・マシュマロの数量は自治会の中でも検討する。（ミレ自治会）
- ・他の自然体験プログラムも行うかを検討することになっていたが、複数の焚火台を用意する必要があるので、今回のプログラムについては、当初通り薪割りと焼きマシュマロだけの方が良いと思う。（NOTS）

（２）企画の進捗状況

※ミレ自治会ミレ自治会担当の方から、塚越銀座商店街の店舗の内容や進捗状況について報告があった。以下、主な報告。

- ・デリカキッチンが出店することの報告があった。内容は焼き鳥とかき氷ということである。
- ・大道芸（バルーンアート）は、都合が合わず参加しない。
- ・似顔絵を描く人が参加できるので、お願いしている。（ミレ自治会会長）
- ・ミレナリータワーズ自治会からは、駄菓子屋と市内の新鮮野菜直売である。
- ・今後は出店のための行政手続きのための書類をお願いしに行く。

＜意見交換＞

- ・新鮮野菜の仕入れはどうか。今回からミレナリー自治会で行ってほしい。（コンサルタント）
- ・新鮮野菜の仕入れについては、ミレ自治会内で車と取りに行く人を調整する。野菜を購入する金額は、40,000 円で購入できる範囲とする。（ミレ自治会）
- ・飲食ができる交流スペースのためのテーブルなどはどうか。（コンサルタント）
- ・ビールケースなどを借りられて立食できるようにもしたいが、ビールケースを借りられる目安が見つからない。ミレナリーのなかで確認すると、塚越2丁目町内会にも借りられるか確認する。合わせて区役所にもお願いする。（ミレ自治会）
- ・雨天の場合はどうか。（コンサルタント）
- ・小決行、雨天中止とする。チラシにもそう明記してほしい。（ミレ自治会）

※区役所から行政申請関連の説明があった。

- ・昨年度提出した申請書のデータがほしい。（ミレ自治会）
- ・自然体験プログラムで火を使うので、火災に紛らわしい行為の届出書を消防署に、合わせて環境局にも報告する必要がある。（NOTS）
- ・自然体験プログラムに関わる届け出は、建設緑政局で行う。（建設緑政局）

3. チラシについて

（１）チラシについて

①表面について

- ・チラシの表面に、各出店の内容やボードゲームの種類、自然体験プログラムの内容が記載しているが、これらはない方がよいと思う。（ミレ自治会）
- ・チラシ表面下部に、さいわい縁むす日事業の説明があったが、「町内会活動に参加しませんか！」のような呼びかけの方が、わかりやすく良いのではないかと。（区役所）
- ・ミレナリータワーズの住民はイベントを開催することは知っているが、何のために開催するか知らない人がほとんどであるので、なんらかの趣旨の記載はあった方がよい。（ミレ自治会）
- ・チラシ表面下部の文章はおかしいので、修正してほしい。（ミレ自治会）

②裏面について

- ・参加者を増やすために、「プレゼントもらえるよ」を目立つようにしてほしい。（ミレ自治会）
- ・小学校低学年の子どもが対象なので、ルビを振る必要がある。また、「謎」を「ナゾ」とする。（ミレ自治会）
- ・謎解きチームのLINEにも投げかけて、意見をもらってほしい。（ミレ自治会）

（２）店舗に貼るなぞなぞについて

- ・店舗に貼るなぞなぞは、目立たない。（ミレ自治会）
- ・それぞれの店舗の答えが、最終の質問のどこにあたるのかわかりにくい。（ミレ自治会）

※上記を踏まえて作成する。

3. お手伝いスタッフ募集について

- ・お手伝いスタッフ募集のチラシ（デジタルサイネージに出すもの）ミレ自治会の中で、作成する。顔合わせ会の日程についても自治会内で調整する。（ミレ自治会）

4. その他

（１）その他手配が必要なもの

- ・出店のテントにつける垂れ幕等については、どのようにすることが良いのか出店する店舗に確認する。（ミレ自治会）

（２）次回の日程

- ・２月９日（金）１９時～

第７回打ち合わせ記録

日時：令和６年２月９日（金）１９時～２０時３０分／会場：塚越ミレナリー Towers 内ラウンジ

出席：（ミレナリー Towers 自治会）４名、（塚越２丁目町内会）１名、（区役所地域振興課）２名、（建設緑政局）１名、（国際自然大学校）１名、（コンサルタント）１名

1. 企画進捗状況について

（１）薪割り体験・焼きマシュマロについて

①薪割り体験位置について

- ・薪割り体験位置については、NOTS 提案の場所で行うことが確認された。

②焼きマシュマロの個数について

- ・マシュマロの個数は、600 個とすることが確認された。NOTS の方で一式そろえて、後日に自治会に請求されることが確認された。

（２）出店の状況

- ・ミレ自治会担当から各店舗の出店状況について報告があった。
- ・上杉氏からにがおえ描きの報告があった。
- ・新鮮野菜の運搬については区役所の車で行うが、ミレナリー自治会メンバーも同行する。仕入れの金額は、４万円とする。

（３）テント・テーブルについて

- ・テント・テーブルについては、ミレナリー自治会、塚越２丁目町内会、区役所所有のもの、それぞれで出し合うことが確認された。

（４）ボードゲーム

- ・ボードゲームの紹介文をコンサルタントの方で作成する。

（５）当日の警備

- ・当日の警備のシフトが今後作成する。
- ・消防団から警備のお手伝いをしていただくことになった。

(6) 開会式について

- ・当日は、簡単な開会式を開催する。

2. チラシ及び強化月間について

- ・チラシはミレナリータワーズの全戸に配布した。
- ・謎解きのシートは、今後各店舗に配布し、掲示してもらう。

3. テントに設置する横断幕について

- ・テントに設置する横断幕については、出店する店舗名を載せたものを作成する。なお、店舗の電話番号は載せないことが確認された。
- ・横断幕は、コンサルタントの方で作成する。

4. その他

- ・お手伝い希望者の顔合わせ会は、2月25日(日)17時～18時で開催する。
- ・次回は、3月1日(金)19時～開催する。さいわい縁むす日前最後の打ち合わせになる。

第8回打ち合わせ記録

日時：令和6年3月1日(金)19時～20時30分／会場：塚越ミレナリータワーズ内ラウンジ

出席：(ミレナリー自治会)5名、(塚越2丁目町内会)1名、(地域振興課)2名、(建設緑政局)1名、
(コンサルタント)1名

1. 企画の進捗状況について

※出店や企画の内容及び準備状況、全体の流れ、開会式の進め方、警備などの運営方法、駐輪場、スタッフ配置など、最終確認を行った。

第9回打ち合わせ記録

日時：令和6年3月15日(金)19時～20時30分／会場：塚越ミレナリータワーズ内ラウンジ

出席：(ミレナリー自治会)5名、(塚越2丁目町内会)1名、(塚越銀座商店街)1名、(地域振興課)2名、
(コンサルタント)1名

※令和5年度さいわい縁むす日について振り返った。

①今年度の「さいわい縁むす日」及び「強化月間」の反省点、感想など

- ・今回は塚越銀座商店街から出店があったが、お店の人たちと交流することができて良かった。今まであまり交流することはなかった。
- ・中高生が似顔絵かきで参加してくれてよかった。似顔絵を通じて交流できた。
- ・新鮮野菜の直売は、今年もあっという間に売れてしまった。もう少し量と種類があると良い。少し遅く来た人は、野菜が無くなって残念がる人がいた。
- ・当初予算の4万円が良かったどうか検証する必要がある。
- ・区長が来て、開会式であいさつしたことは良かった。花を添えていただいた感じである。
- ・今回は昨年度と比べて来訪者が少し少なかった感じがする。昨年度と比べて落ち着いていた。

②住民同士の交流や結びつきに効果について

- ・今回、新しく運営スタッフになってくれた住民がいた。今まで顔しか知らなかったが、話せるようになった。
- ・運営スタッフは、今回を通じていろいろ話せるような関係になったと思う。

- ・塚越2丁目町内会の役員や塚越銀座商店街からの出店者の人と関係性ができた。

③近隣の自治会、商店街等との連携について

- ・謎解きが子どもたちから人気だった。子どもたちから謎解きのことを良く聞かれた。
- ・お店の前のなぞなぞに、子どもたちが集まっていた。
- ・国際自然大学の薪割り、焼きマシュマロのプログラムも良かった。子どもたちが喜んでくれた。
- ・今回、ミレナリー自治会や塚越2丁目町内会と一緒にやったが、良かったことは、お店に集中できたことである。以前は商店街でイベントをやっていたが、警備などのスタッフも各店舗から出さないといけなかったので、人の手配が大変だった。特に最近では店舗も減っていることもあり、マンパワーも少ない。今後も一緒にやれると良い。
- ・今回は、出店も警備もほとんどのことをミレナリー自治会のメンバーで行った。今回は、いろいろな団体が関わってくれたので、自治会の負担は少なかったと思う。一方で、参加団体等との調整が大変だった。特に行政に出す申請書類のやり取りが大変だった。
- ・消防団の警備も良かった。消防団の格好のおかげで、歩行者が横断歩道を渡るとき、車が止まってくれた。
- ・今回、塚越2丁目町内会や商店街と連携することにより、来訪者は地域にどんなお店があるかなど地域を知る機会になったと思う。
- ・参加者のアンケートでは、今回のさいわい縁むす日で良かったこととして、地域のお店が出店していることを挙げる人がみられた。気になっていたが入ったことがないお店を知れて良かったという意見があった。
- ・会場に商店街マップ（案内）があった方が良かった。お店の紹介につながったと思う。
- ・塚越銀座商店街の夜店がなくなってしまったことが、地域の人から残念だったと聞く。これに近いイベントができて良かったと思う。ただ、夜店の方が良いと思う。
- ・どこの出店もある程度売れたようだ。また今回は出店料もなかったもので、赤字にはなっていないようである。

④「さいわい縁むす日」を通じてノウハウを得られたか、また、今後の自信につながったか

- ・行政への申請書類、公園などの占有許可などの取り方を知ることができた。今後の自分たちでやれると思う。

⑤自走による開催の可能性について、行政から支援について

- ・昨年は、お店も自治会側でやったので、それなりに収入があった。今年度は、基本お店になってもらったので、自治会としての収入はほとんどない。このような状況で続けられるかどうか疑問である。
- ・イベントの運営に関してはできると思う。ミレナリー自治会だけでやろうとすると、資材がすくない。テーブルやテントを借りたい。このイベントだけのために、テーブルやテントを買うのは難しい。
- ・テントなどは、出店するお店が準備すれば良いのではないか。
- ・テントやテーブルなど、自治会側で準備してくれるので、お店も参加しやすい。

⑥地域コミュニティの醸成や担い手を増やすための方法

- ・単発でイベントをやってもつながりはなかなか作れない。小さくても良いからコンスタントにやっている必要がある。
- ・町内会自治会は、年間で行事が決まっている。コンスタントにやるためには、ライトなものでしかできない。

⑦その他

- ・今回、交流スペースをテーブルだけにしたのは、いろいろ交流ができて良かったと思う。

3. 制作物



バハ・マール



はいさい



くもい



インド ネパール レストラン

アイソリア



Clock



八百美



ぷるんぷりん



ひたき本店

4. 行政各部署への各種手続き

○行政各部署への各種手続きについては、ミレナリータワーズ自治会が下記について行った。

手続き先	連絡先	提出書類	添付書類
①道路公園センター	幸区 044-544-5500 ※15日前まで	「公園内行為許可申請書」「公園使用料占用料（減額・免除）申請書」	店舗概要詳細、使用スケジュール（準備含む）、公園図面
②消防	幸署 044-511-0119	「露店等開設届」（「露店等開設一覧表」）	公園図面、イベントチラシ
③保健所	区役所衛生課 044-556-6683 ※2週間前まで	主催者として「行事開催届」、出店者店舗「出店概要書」	—

令和5年度さいわい縁むす日報告書

令和6年3月 川崎市幸区